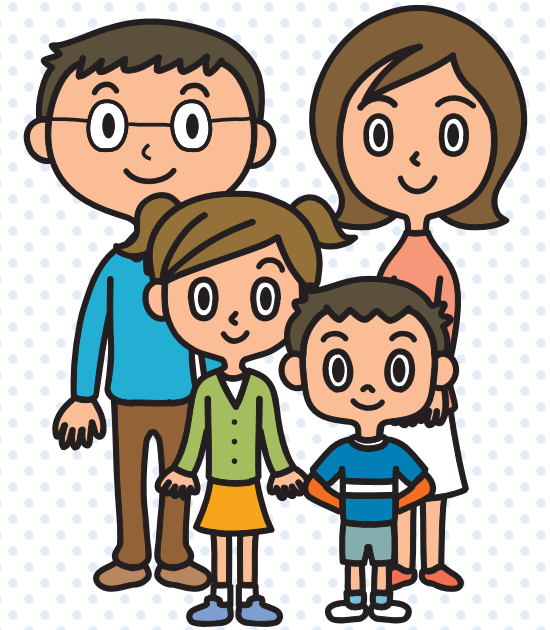


日本アイ・ビー・エムグループ社員の皆様へ

日本IBMグループ 団体総合生活保険

(旧：日本アイ・ビー・エムグループ傷害保険制度のご案内)

傷害補償・医療補償・介護補償
36% 割引適用

 団体割引20%
損害率による割引20%


新型コロナウイルス感染症も 補償範囲となります！

特定感染症を発病した場合、後遺障害保険金、入院保険金、通院保険金をお支払いいたします。

※死亡保険金、手術保険金は補償対象外です。

※保険期間の初日からその日を含めて10日以内の発病は免責となります。

2021年3月現在、新型コロナウイルス感染症(*1)は感染症法(*2)第6条第7項第3号に規定されていますので、補償対象となります。
(*1)病原体がベータコロナウイルス属のコロナウイルス(令和2年1月に、中華人民共和国から世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限りします。)であるものに限りします。
(*2)感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律をいいます。

ご契約内容に関する大切なお知らせ ※現在ご加入の方は必ずお読みくださいますようお願いいたします。

ご契約をそのまま更新される方はお手続き不要です。

現在ご加入の方につきましては、表紙の申込締切日までにご加入者の方からの特段のお申し出または保険会社からの連絡がない限り、当団体は、今年度の募集パンフレット等に記載の保険料・補償内容等にて、保険会社に保険契約を申し込みます。なお、本内容をご了承いただける方につきましては、特段の加入手続きは不要です。

※その他ご不明な点等ございましたら、取扱代理店株式会社アイラスまでご連絡ください。

なお、医療補償・介護補償につきましては、保険料が年齢等により変更となったり、健康状態や年齢等により保険会社側から加入をお断りすることがあります。また、傷害補償につきましても保険金請求状況等によっては、更新のお引受けをお断りすることがありますので予めご了承ください。

ご加入内容をご確認ください。

保険商品にご加入・更新いただく前に保険商品の内容を再度ご確認ください。加入依頼書等に記載いただいた事項につきましては、重要事項説明書の「ご加入内容確認事項(意向確認事項)」にそってご確認ください。該当項目について記入漏れ・記入誤りがある場合は、加入依頼書等の追記・訂正をお願いいたします。また、更新いただく場合は、現在のご加入内容もあわせてご確認ください。現在のご加入内容に誤りがありましたら、取扱代理店(株)アイラスまでお問い合わせください。

この保険は日本アイ・ビー・エム株式会社を契約者とし、団体の構成員等を保険の対象となる方とする団体契約です。

保険証券を請求する権利、保険契約を解約する権利等は原則として日本アイ・ビー・エム株式会社が有します。

この保険は東京海上日動火災保険株式会社を幹事とした共同保険契約です。引受保険会社及び引受割合等については、取扱代理店にご確認ください。なお、医療補償・介護補償については、東京海上日動単独の引受となります。

お問い合わせ先

取扱代理店	株式会社アイラス 担当者：内海／荒巻 ☎0120-067-110 Eメール EB85690@jp.ibm.com(内海) EB26257@jp.ibm.com(荒巻)
引受幹事保険会社	東京海上日動火災保険株式会社 担当課：化学産業営業部 営業第二室 担当者：金子 tel:03-3285-0216

保険期間

2021年7月1日午後4時～2022年7月1日午後4時まで

※中途加入の場合には午前0時から補償を開始いたします。

保険料払込方法

社員の皆様：2021年9月給与より天引開始 ※給与天引による月払のみとなります。

退職者の皆様：2021年9月27日(月)口座振替予定 ※口座振替による一時払のみとなります。

募集期間

2021年4月26日(月)～2021年5月28日(金)まで

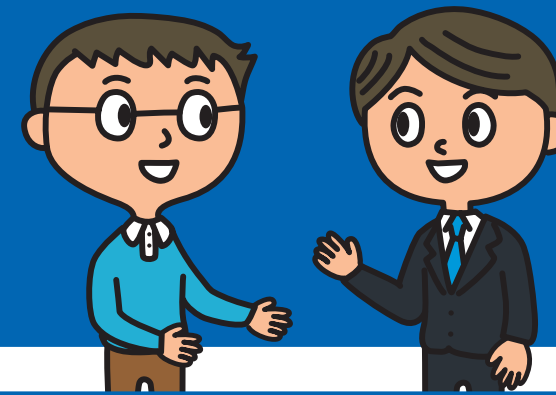
※上記、募集期間を過ぎた場合でも、中途加入を随時受け付けております。

加入依頼書送付先

株式会社アイラス 保険事業本部……………内海(ウチウミ)／荒巻

各種お問い合わせにつきましては、裏表紙記載の取扱代理店担当者までご連絡ください。

団体割引等の適用により 割安な保険料で大きな安心!



日本アイ・ビー・エムグループの
皆様にぴったりの補償を
お届けします!

日本アイ・ビー・エムグループ団体傷害保険

基本補償

1	ケガの補償	傷害補償 P.03 地震、噴火またはこれらによる津波によって 生じたケガや特定感染症を発病した場合も 補償いたします。	本人タイプ P.04 本人・配偶者タイプ P.04 家族タイプ P.04
2	病気・医療の補償	医療補償 P.05	
3	介護の補償	介護補償 P.07	

オプション

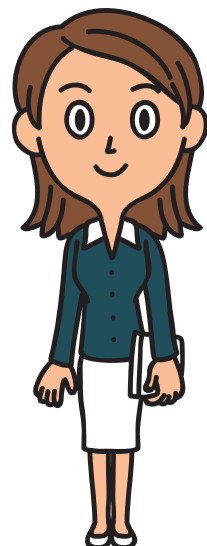
その他日常生活の補償 P.09			
オプション1 個人賠償責任	オプション2 携行品損害	オプション3 救護者費用等	オプション4 借家人賠償責任
⚠ 日常生活のそれぞれの補償(オプション)への新規ご加入には、おからだの補償(基本補償：傷害補償、医療補償、介護補償)のいずれかへのご加入が必要です(単独でのご加入は出来ませんのでご注意ください。)。			

例えば、こんな組み合わせで…

①月払の場合

Aさん(30歳・女性)

マンション住まい、旅行好き



普通傷害 (本人タイプ)	P10	1,750円
個人賠償 責任	K0	100円
携行品	M1	70円
救護者費用	H1	10円

合計 月々1,930円

Bさん(42歳・男性/36歳・女性夫婦)

子供2人の4人家族



普通傷害 (家族タイプ)	F20	5,670円
個人賠償 責任	K0	100円
医療	T2	760円 +680円
介護 (親年齢:65歳、69歳)	K100	430円 +430円

合計 月々8,070円

②一時払の場合

Cさん(50歳男性/48歳女性夫婦)



普通傷害 (夫婦タイプ)	W10	27,430円
個人賠償 責任	K0	1,130円
医療	T1	7,910円 +6,280円
介護	K100	520円 +260円

合計 一時払43,530円

傷害補償

2021年度よりすべてのタイプに「特定感染症危険補償特約」が追加されました！

特定感染症を発病した場合、後遺障害保険金、入院保険金、通院保険金をお支払いいたします。

※死亡保険金、手術保険金は補償対象外です。

※保険期間の初日からその日を含めて10日以内の発病は免責となります。

※保険金をお支払いする主な場合、保険金をお支払いしない主な場合等についてはこのパンフレットの後記「補償の概要等」をご確認ください。



団体割引(20%)×損害率による割引(20%)
傷害補償 **36%** 割引

ケガの基本プラン

国内外での「急激かつ偶然な外来の事故」により、保険の対象となる方がケガをした場合に保険金をお支払いします。

例えば 交通事故によるケガ・工作中的のケガ・家庭内でのケガ・旅行中のケガ・スポーツ中のケガ



天災危険補償特約つきプラン

地震もしくは噴火またはこれらによる津波によりケガをした場合に、死亡・後遺障害・入院・手術・通院の各保険金をお支払いします。



NEW!

特定感染症危険補償特約

特定感染症*1を発病した場合に、後遺障害・入院・通院の各保険金をお支払いします。

*1 特定感染症の定義については、「補償の概要等」をご確認ください。



- * 手術保険金のお支払い額は、入院保険金日額の10倍(入院中の手術)または5倍(入院中以外の手術)となります。傷の処置や抜歯等お支払いの対象外の手術があります。
- 保険料は被保険者(保険の対象となる方)の職種級別によって異なります。P4記載の保険料は、職種級別A(事務職・営業職・技術者等)の方を対象としたものです。職種級別Bの方は、この団体傷害保険ではお引受けできませんのでご了承ください。(職種級別の詳細は後記P11をご確認ください。)
- 加入依頼書の被保険者欄に記載された方が被保険者本人となります。(なお、加入者本人を補償の対象としたい方は、被保険者欄にも必ずご記入ください。)
- P4記載の保険料は、被保険者(ご本人)数が1,000人～4,999人である場合の保険料です。

被保険者(保険の対象となる方)の範囲	加入者本人 (被保険者本人)	配偶者	ご本人または配偶者の 同居のご親族(*1)	ご本人または配偶者の 別居の未婚(*2)のお子様
本人・配偶者タイプ	○	○	×	×
家族タイプ	○	○	○	○

*1:6親等以内の血族および3親等以内の姻族をいいます(配偶者を含みません。)

*2:これまでに婚姻歴が無いことをいいます。

*保険の対象となる方の続柄は、傷害の原因となった事故発生時におけるものをいいます。

※「配偶者」の【「保険の対象となる方(被保険者)について」における用語の解説】は、下記をご参照ください。

【「保険の対象となる方(被保険者)について」における用語の解説】

*配偶者:法律上の配偶者のほか、①婚姻の届出をしていないが事実上婚姻関係と同様の事情(婚約とは異なります。)にある方および②戸籍上の性別が同一であるが婚姻関係と異ならない程度の実質を備える状態にある方を含みます。ただし、①および②については、以下の要件をすべて満たすことが書面等により確認できる場合に限ります。

a.婚姻意思を有すること(戸籍上の性別が同一の場合は、夫婦同様の関係を将来にわたり継続する意思をいいます。)。

b.同居により夫婦同様の共同生活を送っていること。

保険金額・保険料表〔天災あり〕

【保険期間:1年間、団体割引:20%、損害率による割引:20%】※損害率による割引は、天災危険特約の保険料には適用されません。

被保険者本人として加入できる方の範囲(本人タイプ)

日本アイ・ビー・エムグループの社員本人および配偶者・お子様のみご加入できます。それ以外の方は同居・別居問わず加入できません

現 役		本人タイプ	天災危険補償タイプ			
		加入タイプ	P05	P10	P20	P30
		月額保険料	880円	1,750円	3,180円	4,590円
保 険 金 額	本 人	死亡・後遺障害	500万円	1,000万円	2,000万円	3,000万円
		入院保険金日額*	1,500円	3,000円	4,500円	6,000円
		通院保険金日額	1,000円	2,000円	3,000円	4,000円

退職者本人(注)および配偶者・お子様のみご加入できます
それ以外の方は同居・別居問わず加入できません

退職者		本人タイプ	天災危険補償タイプ			
		加入タイプ	P05	P10	P20	P30
		一時払保険料	9,590円	19,170円	34,610円	50,040円
保 険 金 額	本 人	死亡・後遺障害	500万円	1,000万円	2,000万円	3,000万円
		入院保険金日額*	1,500円	3,000円	4,500円	6,000円
		通院保険金日額	1,000円	2,000円	3,000円	4,000円

被保険者本人として加入できる方の範囲(本人・配偶者タイプ)

日本アイ・ビー・エムグループの社員本人および配偶者のみ被保険者本人として加入いただけます。

現 役		本人・配偶者タイプ	天災危険補償タイプ			
		加入タイプ	W05	W10	W20	W30
		月額保険料	1,250円	2,500円	4,480円	6,420円
保 険 金 額	本 人	死亡・後遺障害	500万円	1,000万円	2,000万円	3,000万円
		入院保険金日額*	1,500円	3,000円	4,500円	6,000円
		通院保険金日額	1,000円	2,000円	3,000円	4,000円
保 険 金 額	配 偶 者	死亡・後遺障害	250万円	500万円	1,000万円	1,500万円
		入院保険金日額*	750円	1,500円	2,000円	2,500円
		通院保険金日額	500円	1,000円	1,300円	1,500円

退職者		本人・配偶者タイプ	天災危険補償タイプ			
		加入タイプ	W05	W10	W20	W30
		一時払保険料	13,720円	27,430円	48,800円	69,930円
保 険 金 額	本 人	死亡・後遺障害	500万円	1,000万円	2,000万円	3,000万円
		入院保険金日額*	1,500円	3,000円	4,500円	6,000円
		通院保険金日額	1,000円	2,000円	3,000円	4,000円
保 険 金 額	配 偶 者	死亡・後遺障害	250万円	500万円	1,000万円	1,500万円
		入院保険金日額*	750円	1,500円	2,000円	2,500円
		通院保険金日額	500円	1,000円	1,300円	1,500円

被保険者本人として加入できる方の範囲(家族タイプ)

日本アイ・ビー・エムグループの社員本人および配偶者のみ被保険者本人として加入いただけます。

現 役		家族タイプ	天災危険補償タイプ			
		加入タイプ	F05	F10	F20	F30
		月額保険料	1,850円	3,690円	5,670円	8,740円
保 険 金 額	本 人	死亡・後遺障害	500万円	1,000万円	2,000万円	3,000万円
		入院保険金日額*	1,500円	3,000円	4,500円	6,000円
		通院保険金日額	1,000円	2,000円	3,000円	4,000円
保 険 金 額	配 偶 者	死亡・後遺障害	250万円	500万円	1,000万円	1,500万円
		入院保険金日額*	750円	1,500円	2,000円	2,500円
		通院保険金日額	500円	1,000円	1,300円	1,500円
保 険 金 額	そ の 他 の 家 族	死亡・後遺障害	250万円	500万円	500万円	1,000万円
		入院保険金日額*	500円	1,000円	1,000円	1,500円
		通院保険金日額	250円	500円	500円	1,000円

退職者		家族タイプ	天災危険補償タイプ			
		加入タイプ	F05	F10	F20	F30
		一時払保険料	20,230円	40,440円	61,810円	95,290円
保 険 金 額	本 人	死亡・後遺障害	500万円	1,000万円	2,000万円	3,000万円
		入院保険金日額*	1,500円	3,000円	4,500円	6,000円
		通院保険金日額	1,000円	2,000円	3,000円	4,000円
保 険 金 額	配 偶 者	死亡・後遺障害	250万円	500万円	1,000万円	1,500万円
		入院保険金日額*	750円	1,500円	2,000円	2,500円
		通院保険金日額	500円	1,000円	1,300円	1,500円
保 険 金 額	そ の 他 の 家 族	死亡・後遺障害	250万円	500万円	500万円	1,000万円
		入院保険金日額*	500円	1,000円	1,000円	1,500円
		通院保険金日額	250円	500円	500円	1,000円

(注)IBMグループ定年(扱)・退職者・一般退職者(退職時30歳以上)

医療補償

団体割引20%×損害率による割引20%
医療補償 **36%** 割引

傷害・疾病で入院された場合、手術をされた場合、
放射線治療を受けた場合に保険金をお支払いするプランです。

※放射線治療については血液照射を除きます。複数回受けた場合は、施術の開始日から、60日間に1回の支払いを限度とします。

(1回の入院*1について180日が保険金お支払いの限度となります。)

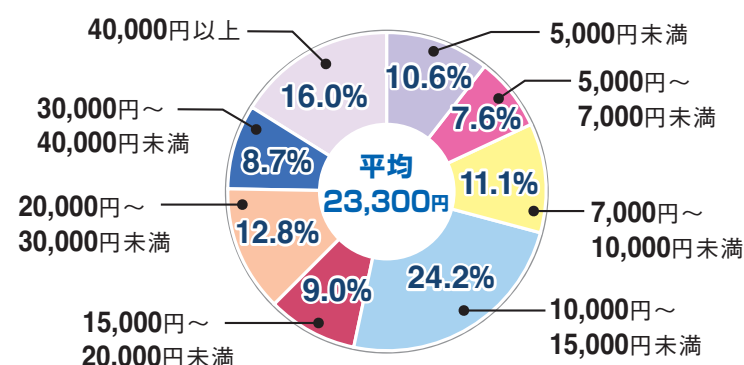
※保険金をお支払いする主な場合、保険金をお支払いしない主な場合等についてはこのパンフレットの後記「補償の概要等」をご確認ください。



入院費って
いくらぐらい
かかるの？

もしもの
病気のリスクに備えて
「医療補償」が
あると安心です。

入院時の1日あたりの自己負担費用



※集計ベース:過去5年間に入院し、自己負担費用を支払った人(高額療養費制度を利用した人および利用しなかった人(適用外含む))

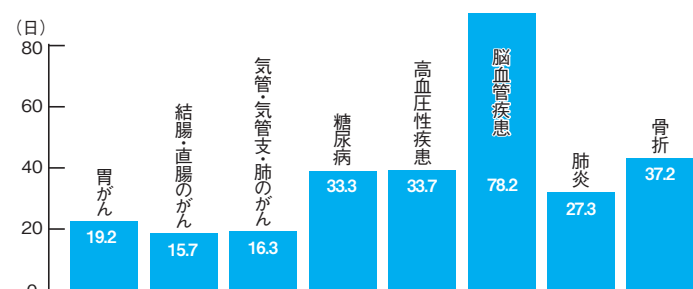
※治療費・食事代・差額ベッド代に加え、交通費(見舞いに来る家族の交通費も含みます。)や衣類、日用品費などを含みます。

※高額療養費制度を利用した場合は利用後の金額となります。

【出典】(公財)生命保険文化センター「令和元年度 生活保障に関する調査」

さらに 病気によっては入院期間が長くなります。

退院患者平均在院日数



【出典】「平成29年患者調査」(厚生労働省)をもとに当社にて作成

だから 入院や手術を補償する「医療補償」だと安心です。

保険金額・保険料表

現役社員向け

●被保険者本人として加入できる方の範囲

社員本人および配偶者のみご加入できます
それ以外の方は同居・別居問わず加入できません

【保険期間:1年間、免責日数:0日、団体割引:20%、損害率による割引:20%】
※加入口数は1口のみです。

加入タイプ			T1	T2
保険金額	疾病・傷害入院保険金日額		3,000円	5,000円
	疾病・傷害手術保険金額	重大手術 *2	12万円	20万円
	疾病・傷害手術保険金額 (重大手術以外)	入院中	3万円	5万円
		入院中以外	1.5万円	2.5万円
	放射線治療保険金額		3万円	5万円
月額保険料	20歳～24歳		350円	580円
	25歳～29歳		370円	610円
	30歳～34歳		380円	640円
	35歳～39歳		410円	680円
	40歳～44歳		450円	760円
	45歳～49歳		570円	960円
	50歳～54歳		720円	1,210円
	55歳～59歳		980円	1,640円
	60歳～64歳		1,380円	2,310円
	65歳～69歳		1,860円	3,110円
	70歳		2,530円	4,220円

退職者向け

●被保険者本人として加入できる方の範囲

退職者本人(注)および配偶者のみご加入できます
それ以外の方は同居・別居問わず加入できません

【保険期間:1年間、免責日数:0日、団体割引:20%、損害率による割引:20%】
※加入口数は1口のみです。

加入タイプ			T1	T2
保険金額	疾病・傷害入院保険金日額		3,000円	5,000円
	疾病・傷害手術保険金額	重大手術 *2	12万円	20万円
	疾病・傷害手術保険金額 (重大手術以外)	入院中	3万円	5万円
		入院中以外	1.5万円	2.5万円
	放射線治療保険金額		3万円	5万円
一時払保険料	30歳～34歳		4,160円	6,950円
	35歳～39歳		4,440円	7,410円
	40歳～44歳		4,950円	8,260円
	45歳～49歳		6,280円	10,470円
	50歳～54歳		7,910円	13,190円
	55歳～59歳		10,700円	17,850円
	60歳～64歳		15,120円	25,210円
	65歳～69歳		20,340円	33,910円
	70歳		27,620円	46,040円

(注)IBMグループ定年(扱)・退職者・一般退職者(退職時30歳以上)

※保険料は、保険の対象となる方で本人の年齢(団体契約の始期日時時点の年齢をいいます。)によって異なります。

●傷の処置、切開術(皮膚、鼓膜)、抜歯等お支払いの対象外の手術やお支払い回数に制限がある手術があります。

●保険金をお支払いする主な場合、保険金をお支払いしない主な場合については後記、「補償の概要等」をご覧ください。

*1「1回の入院」とは次のいずれかに該当する入院をいいます。

①入院を開始してから退院するまでの継続した入院②退院後、その日を含めて180日を経過した日までに再入院した場合で、その再入院が前の入院の原因となった身体障害(医学上重要な関係がある身体障害を含みます。)によるものであるときは、再入院と前の入院を合わせた入院

*2 対象となる重大手術については、後記「補償の概要等」をご確認ください。

●日本IBMグループの規模メリットにより割安です。(団体割引20%)

●上記の保険料は被保険者(保険の対象となる方)数が1,000名以上の金額です。

●医師による診査は不要です。健康状態告知書への回答にてご加入いただけます。(ただし、告知いただいた内容によっては、ご加入をお断りしたり、弊社の提示するお引受条件によってご加入いただくことがあります。)

●2021年7月1日時点の年齢が満20歳～70歳までの方が新規にご加入いただけます。なお、更新は満70歳以下までのお引き受けとなります。

※この保険では、新規ご加入時に既に被っているケガや病気については保険金をお支払いできません。(ただし、初年度ご加入時の保険期間(ご契約期間)開始後1年を経過した後に生じた保険金支払事由については、保険金お支払いの対象となります。)

※この保険のご加入対象者(被保険者:保険の対象となる方)は、日本IBMグループの役員・従業員ご本人、およびその配偶者に限ります。

※「配偶者」の【『保険の対象となる方(被保険者)について』における用語の解説】は、P3をご参照ください。

※加入依頼書の被保険者欄に記載された方が被保険者本人となります。

介護補償

団体割引20%×損害率による割引20%
介護補償 **36%** 割引

公的介護保険制度に基づく要介護2以上の認定を受けた場合
または東京海上日動所定の要介護状態(要介護2用)*1と診断され、その状態
が90日を超えて継続した場合に、保険金(一時金)をお支払いします。

*1 東京海上日動所定の要介護状態(要介護2用)については、後記「補償の概要等」をご確認ください。



公的介護保険は
あるけれど・・・?

もしもの
介護に備えて
「介護補償」があると
安心です。

介護にかかるお金は・・・?

【出典】(公財)生命保険文化センター「平成30年度 生命保険に関する全国実態調査」

一時費用*1の合計:
平均約**70万円**

月々の介護費用とは別に、自宅の改修費用や
車いす、特殊ベッドなどの福祉用品の購入など
で初期費用がかかる可能性があります。

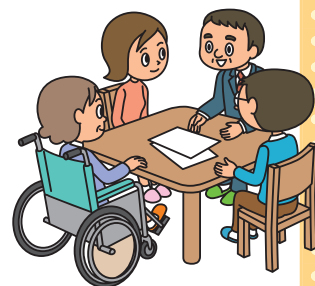


*1 公的介護保険サービスの自己負担費用を含む

要介護状態初期に一時的に必要な主な費用の目安 (自費で購入等した場合)

【出典】(公財)生命保険文化センター「介護保障ガイド 2018年8月改訂版」をもとに当社にて作成

車いす	階段昇降機	特殊寝台(介護ベッド)
■自走式 …… 4～15万円 ■電動式 …… 30～50万円	■いす式直線階段用 ……………50万円～ ※工事費別途	■15～50万円 ※機能により金額は異なる
手すり	ポータブルトイレ	移動用リフト
■廊下・階段・浴室用など ……………1万円～ ※サイズ・素材により金額は異なる (工事費別途)	■水洗式………… 1～4万円 ■シャワー式 …… 10～25万円	■据置式……………20～50万円 ■レール走行式 ……50万円～ ※工事費別途



だから

介護にはまとまった
資金準備があると安心です。

保険金額・保険料表

現役社員向け

●被保険者本人として加入できる方の範囲

- ①日本IBMグループの役員・従業員
- ②上記①のご家族
(a)配偶者、お子様、ご両親、ご兄弟
(b)上記①と同居されている親族の方

ただし、被保険者本人の年齢(団体契約の始期日時点の年齢をいいます。)が
満5歳以上満84歳以下とします。

※「配偶者」の【「保険の対象となる方(被保険者)について」における用語の
解説】は、P3をご参照ください。

【保険期間:1年間、団体割引:20%、損害率による割引:20%】

補償の型		独自基準追加型(要介護2)	
タイプ名		K100タイプ	K200タイプ
介護補償保険金額		100万円	200万円
月額 保険料	5～9歳	10円	10円
	10～14歳	10円	10円
	15～19歳	10円	10円
	20～24歳	10円	10円
	25～29歳	10円	10円
	30～34歳	10円	10円
	35～39歳	10円	10円
	40～44歳	10円	20円
	45～49歳	20円	50円
	50～54歳	50円	100円
	55～59歳	100円	200円
	60～64歳	200円	410円
	65～69歳	430円	850円
	70～74歳	890円	1,790円
	75～79歳	1,960円	3,910円
	80～84歳	4,500円	9,010円

退職者向け

●被保険者本人として加入できる方の範囲

- ①日本IBMグループの退職者
- ②上記①のご家族
(a)配偶者、お子様、ご両親、ご兄弟
(b)上記①と同居されている親族の方

ただし、被保険者本人の年齢(団体契約の始期日時点の年齢をいいます。)が
満5歳以上満84歳以下とします。

※「配偶者」の【「保険の対象となる方(被保険者)について」における用語の
解説】は、P3をご参照ください。

【保険期間:1年間、団体割引:20%、損害率による割引:20%】

補償の型		独自基準追加型(要介護2)	
タイプ名		K100タイプ	K200タイプ
介護補償保険金額		100万円	200万円
一時 払保険 料	5～9歳	10円	10円
	10～14歳	10円	10円
	15～19歳	10円	10円
	20～24歳	10円	20円
	25～29歳	20円	30円
	30～34歳	30円	70円
	35～39歳	60円	130円
	40～44歳	130円	250円
	45～49歳	260円	510円
	50～54歳	520円	1,040円
	55～59歳	1,070円	2,140円
	60～64歳	2,230円	4,460円
	65～69歳	4,660円	9,320円
	70～74歳	9,750円	19,490円
	75～79歳	21,340円	42,670円
	80～84歳	49,140円	98,280円

(注)IBMグループ定年(扱)・退職者・一般退職者(退職時30歳以上)

※保険料は、保険の対象となる方で本人の年齢(2021年7月1日時点の年齢をいいます)によって異なります。

「公的介護保険連動型」と「独自基準追加型」の違いについて

【「公的介護保険連動型」とは】

国の公的介護保険制度に基づく要介護状態の認定を受けた場合に、保険金をお支払いするものです。

【公的介護保険制度の特徴】

特徴①:40歳以上の方のみが対象

⇒「39歳以下の方」が要介護状態になった場合は、給付の対象外!

特徴②:40歳以上～64歳以下の方は給付が限定的

⇒40歳以上～64歳以下の方は「加齢に起因する疾病(16種類の特定疾病)」により要介護状態となった場合のみが給付の対象となり、「加齢に起因する疾病(16種類の特定疾病)以外の疾病」や「ケガ」が原因で要介護状態となった場合は、給付の対象外!

【「独自基準追加型」とは】

国の公的介護保険制度に基づく要介護状態の認定を受けた場合に加えて、別途、東京海上日動が独自に定めた所定の要介護状態となった場合にも保険金をお支払いするものです。

これは、上記のような公的介護保険制度の特徴を踏まえた補償であり、公的介護保険制度による給付の対象外となってしまう「39歳以下の方」が要介護状態になった場合や、「加齢に起因する疾病(16種類の特定疾病)以外の疾病・ケガ」により要介護状態になった場合についても、保険金をお支払いできるメリットがあります。

※公的介護保険制度の詳細については、後記「公的介護保険制度とは」をご確認ください。

保険金をお支払いする主な場合、保険金をお支払いしない主な場合については、後記「補償の概要等」をご確認ください。

その他日常生活の補償

団体割引20%×損害率による割引20%
その他
日常生活の補償 **36% 割引**

※保険金をお支払いする主な場合、保険金をお支払いしない主な場合については後記「補償の概要等」をご確認ください。

日常生活の補償 日常生活の様々なシーンで起こりうる危険や心配事も、これで安心！

〈個人賠償責任〉

国内外において、日常生活で他人にケガをさせたり他人の物を壊してしまったときや、国内で他人から借りた物や預かった物(受託品)*1を国内外で壊したり盗まれてしまったとき等、法律上の損害賠償責任を負った場合に保険金をお支払いします。

*1 携帯電話、ノート型パソコン、自転車、コンタクトレンズ、眼鏡、1個または1組で100万円を超える物等は、受託品に含まれません。

※国内での事故(訴訟が国外の裁判所に提起された場合を除きます。)

に限り、示談交渉は原則として東京海上日動が行います。

例えば……自転車を運転中、誤って歩行者と接触し、ケガをさせた。

・買い物中、誤って商品を壊してしまった。

・レンタルしたスキー用品を誤って壊してしまった。

・他人から借りた旅行カバンを盗まれた。



オプション 1

〈携行品損害〉

日本国内外を問わず、保険の対象となる方が所有する自宅外で携行している家財が偶然な事故によって損害を受けた場合に保険金をお支払いします。

(免責金額(自己負担額):5,000円)

※自転車、ゴルフカート・サーフボード、携帯電話、ノート型パソコン、眼鏡、ペット、植物、手形その他の有価証券(小切手は含みません。)、商品・製品等は、補償の対象となりません。



オプション 2

〈救援者費用等〉

日本国内外を問わず、急激かつ偶然な外来の事故により緊急の捜索・救助活動を要する状態となった場合や、ケガにより長期入院した場合等に、保険の対象となる方または親族等が捜索費用や現地へ赴くための交通費・宿泊料等に対して、保険金をお支払いします。

(免責金額(自己負担額):なし)



オプション 3

〈借家人賠償責任〉

日本国内で、借戸室での火災、破裂・爆発、水濡れ、盗難事故により、貸主に対して法律上の損害賠償責任を負った場合に保険金をお支払いします。また、落雷、風災・雪災、外部からの物体の衝突等の事故により、法律上の損害賠償責任が生じないときであっても貸主との契約に基づいて借戸室を自己の費用で修理した場合にも保険金をお支払いします。(免責金額(自己負担額):なし)

※借家人賠償責任については、示談交渉は東京海上日動では行いません。



オプション 4



日常生活のそれぞれの補償(オプション)への新規ご加入には、おからだの補償(基本補償:傷害補償、医療補償、介護補償)のいずれかへのご加入が必要です(単独でのご加入は出来ませんのでご注意ください)。

保険金額・保険料表

現役社員の方は月払・退職者は一時払となります。

加入限度口数	タイプコード K0		個人賠償責任 被保険者(保険の対象となる方)の範囲			
	1口のみ		被保険者本人	ご本人の配偶者	ご本人または配偶者の同居のご親族(*1)	ご本人または配偶者の別居の未婚(*2)のお子様
保険金額	国内:1億円、国外:1億円					
月払保険料	現役社員	100円	○	○	○	○
一時払保険料	退職者	1,130円	○	○	○	○

加入限度口数	タイプコード M1	タイプコード M2	タイプコード M3	携行品損害 被保険者(保険の対象となる方)の範囲			
	1口のみ			被保険者本人	ご本人の配偶者	ご本人または配偶者の同居のご親族(*1)	ご本人または配偶者の別居の未婚(*2)のお子様
保険金額	10万円	20万円	30万円				
月払保険料	現役社員 70円	現役社員 110円	現役社員 170円	○	○	○	○
一時払保険料	退職者 770円	退職者 1,180円	退職者 1,830円	○	○	○	○

加入限度口数	タイプコード H1		救援者費用等 被保険者(保険の対象となる方)の範囲			
	1口のみ		被保険者本人	ご本人の配偶者	ご本人または配偶者の同居のご親族(*1)	ご本人または配偶者の別居の未婚(*2)のお子様
保険金額	300万円					
月払保険料	現役社員	10円	○	×	×	×
一時払保険料	退職者	120円	○	×	×	×

加入限度口数	タイプコード R1		借家人賠償責任 被保険者(保険の対象となる方)の範囲			
	1口のみ		被保険者本人	ご本人の配偶者	ご本人または配偶者の同居のご親族(*1)	ご本人または配偶者の別居の未婚(*2)のお子様
保険金額	1,000万円					
月払保険料	現役社員	180円	○	×	×	×
一時払保険料	退職者	1,950円	○	×	×	×

*1:6親等以内の血族および3親等以内の姻族をいいます(配偶者を含みません。) *2:これまでに婚姻歴がないことをいいます。

*保険の対象となる方の続柄は、損害の原因となった事故発生時におけるものをいいます。

*賠償責任に関する補償において、ご本人が未成年者または上表の保険の対象となる方が責任無能力者である場合は、未成年者または責任無能力者の親権者およびその他の法定の監督義務者等も保険の対象となる方に含みます(未成年者または責任無能力者に関する事故に限ります。)

※加入依頼書の被保険者欄に記載された方が被保険者本人となります。

※「配偶者」の【「保険の対象となる方(被保険者)」について】における用語の解説】は、P3をご参照ください。

被保険者ご本人の方全員の職種級別を必ずご確認ください

傷害(ケガ)を被った際に保険金をお支払いする保険商品のうち、傷害補償には被保険者の方(保険の対象となる方)のご職業による区分(職種級別区分)があります。職種級別は、保険料の算出や保険金のお支払いを正しく行うために、極めて重要な項目ですので、下記「確認方法」に基づき、各被保険者の職種級別区分を必ずご確認くださいませようお願いいたします。

確認方法

更新加入依頼書に印字された職種級別(A)が実態と合っていますか。*

合っている

印字されたタイプで更新される場合は、更新加入依頼書のご提出は不要です。

合っていない

(株)アイラスまでお問い合わせください。

*「職種級別」にご注意ください!

従事されている職務により「職種級別」が異なります。ご自身の職種級別を下表にてご確認ください。お申込ください。

職種級別Aの職務

下記「職種級別B」以外の職務

職種級別Bの職務

*職種級別Bの方は、団体総合生活保険ではお引受けできませんのでご了承ください。

該当する職種	主な例	*詳細につきましては、取扱代理店までお問い合わせください。
建設作業	●大工 ●とび工 ●左官 ●配管工 ●測量作業	
自動車運転者	●バス運転者 ●タクシー運転者 ●貨物自動車運転者(上乗手を含む) ●自動車を用いて配達作業に従事する運転者	ただし、下記は除きます。 ・事務従事者、販売従事者であって訪問先などへの移動手段として自動車運転を行う者 ・建設用機械の運転に従事する者 ・二輪自動車(オートバイ)の運転者
農林業作業	●農耕作業 ●植木職・造園師 ●育林・伐木作業 ●養畜作業	
漁業作業	●漁労作業 ●漁労船の船長・航海士・機関長・機関士 ●潜水漁師 ●水産養殖作業	
採鉱・採石作業	●採掘作業 ●じゃり・砂・粘土採取作業 ●ダム・トンネル掘削作業	
木・竹・草・つる製品製造作業	●製材工 ●合板工 ●木工 ●木彫工 ●船大工	

告知の大切さに関するご案内

告知の大切さについて、 ご説明させていただきます。

所得補償・団体長期障害所得補償(GLTD)・医療補償・がん補償・介護補償に新たにご加入される場合、または更新にあたり補償内容をアップされる場合*¹には、保険の対象となる方(被保険者)について健康状態の告知が必要です。

*¹ 更新前契約に補償対象外となる病気・症状が設定されており、告知書ご記入日時時点で、告知書記載の質問すべてのご回答が「なし」となる場合を含みます(更新後契約については補償対象外となる病気・症状を補償対象にすることができます。告知書にご回答がない場合には、更新前契約と同条件での更新となります。)。

*医療補償またはがん補償で家族タイプにご加入される場合には、保険の対象となる方(被保険者)ご本人のほか、配偶者様や満23歳未満のお子様全員についても告知が必要です。

告知書は保険の対象となる方(被保険者)ご自身がありのままにご記入ください。*

告知の内容が正しくない場合には、ご加入が解除され、保険金をお受け取りいただけないことがあります。*

*一括告知制度を採用している場合は、ご契約者が一括してご記入ください。

*¹ ご家族の方を保険の対象とする場合は、ご家族の方ご自身がご記入ください。

介護補償にのみ(追加)加入される場合で、団体構成員のご家族(団体構成員の配偶者、子供、両親、兄弟及び団体構成員と同居の親族)を保険の対象となる方(被保険者)とするときには、被保険者からのご依頼を受けた団体構成員が被保険者の健康状態を確認したうえで、代理で告知いただけます。

*² 更新時に補償内容をアップされた場合、補償内容をアップされた部分が解除され、保険金をお受け取りいただけないことがあります。

過去に病気やケガをされたことがある場合、お引受けは次のA～Cのいずれかになります(がん補償・介護補償については、AまたはCになります。)

A お引受けいたします(補償対象外となる病気・症状の設定はありません。)

B 補償対象外となる病気・症状を設定のうえ、お引受けいたします(なお、更新時の補償内容アップの際に補償対象外となる病気・症状が設定された場合は、補償内容をアップされた部分だけでなく、従来よりご加入されている部分についてもその病気・症状は補償対象外となりますのでご注意ください。)

C 今回はお引受けできません。

過去に病気やケガをしたことがあったら、契約はどうなるのかしら?



お申込み後、保険金請求時等に、告知内容についてご確認させていただく場合があります。

1年前に…



告知内容を確認させていただきます。

告知いただく内容例*³は次のとおりです。詳しくは加入依頼書等の告知項目をご確認ください。

① 入院または手術の有無(予定を含みます。)

② 告知書記載の特定の疾病に関する、過去2年以内の医師の指示による検査・治療(投薬の指示を含みます。)の有無

③ 過去2年以内の健康診断・人間ドックにおける異常指摘の有無 等

*³ 告知いただく内容は、保険種類等によって異なりますのでご注意ください。

〈以下のケースもすべて告知が必要です。〉

●現在、医師に手術をすすめられている。

●過去2年以内に告知書記載の特定の疾病について医師の指示による投薬を受けていたが、現在は完治している。

●過去2年以内に健康診断で「要精密検査」との指摘を受けたが、精密検査の結果、異常は見つからなかった。(がん補償のみ)



ご注意ください

告知書の質問をよくお読みいただき、ご記入ください。

新たな保険契約への切替の場合、新たに告知が必要となる等のご注意いただきたい事項があります。詳しくは、重要事項説明書をご確認ください。

告知すべき内容を後日思い出された場合には、《お問い合わせ先》までご連絡ください。

所得補償・団体長期障害所得補償(GLTD)・医療補償・介護補償については、支払責任の開始する日より前に被っているケガまたは病気・症状を原因として、支払責任を開始する日以降に就業不能や入院等をされた場合には、その原因が告知対象外のケガまたは病気・症状であったり、正しく告知いただいていた場合であっても、保険金お支払いの対象とならないことがあります。ただし、支払責任の開始する日から1年を経過した後に開始した就業不能や入院等については、保険金お支払いの対象となります。なお、その場合でも、ご加入時に補償対象外に設定された病気・症状による就業不能や入院等については保険金お支払いの対象とはなりませんのでご注意ください。

※お客様控のない加入依頼書の場合は、お手数ですがコピーをお取りいただき大切に保管してください。
※インターネット等によりお手続きされる場合は、告知書へ記入することにかえて、画面上に入力してください。
また、本資料中の「告知書」は「健康状態の告知の画面」と読み替えてください。

この資料は告知の大切さについて、その概要を記載したものです。
告知に関するお問い合わせは、《お問い合わせ先》までご連絡ください。

東京海上日動火災保険株式会社

07ut-GJ05-07475-201801 12

＜団体総合生活保険 補償の概要等＞

保険期間：1年

※ご加入いただくタイプによっては保険金お支払いの対象とならない場合があります。ご加入のタイプの詳細については、「保険金額・保険料」表をご確認ください。

傷害補償

「急激かつ偶然な外来の事故」により、保険の対象となる方がケガ*1をした場合に保険金をお支払いします。

*1 ケガには、有毒ガスまたは有毒物質による急性中毒を含みます。ただし、細菌性食中毒およびウイルス性食中毒は含みません。なお、職業病、テニス肩のような急激性、偶然性、外来性のいずれかまたはすべてを欠くケースについては、保険金お支払いの対象となりませんのでご注意ください。

保険金支払の対象となっていない身体に生じた障害の影響等によって、保険金を支払うべきケガの程度が重大となった場合は、東京海上日動は、その影響がなかったときに相当する金額をお支払いします。詳細は、《お問い合わせ先》までご連絡ください。

	保険金をお支払いする主な場合	保険金をお支払いしない主な場合
死亡保険金	事故の日からその日を含めて180日以内に死亡された場合 ▶死亡・後遺障害保険金額の全額をお支払いします。 ※ 1事故について、既に支払われた後遺障害保険金がある場合は、死亡・後遺障害保険金額から既に支払われた金額を差し引いた額をお支払いします。	・保険の対象となる方の故意または重大な過失によって生じたケガ ・保険金の受取人の故意または重大な過失によって生じたケガ(その方が受け取るべき金額部分)
後遺障害保険金	事故の日からその日を含めて180日以内に身体に後遺障害が生じた場合 ▶後遺障害の程度に応じて死亡・後遺障害保険金額の4%～100%をお支払いします。 ※ 1事故について死亡・後遺障害保険金額が限度となります。	・保険の対象となる方の闘争行為、自殺行為または犯罪行為によって生じたケガ ・無免許運転や酒気帯び運転をしている場合に生じたケガ
入院保険金	医師等の治療を必要とし、事故の日からその日を含めて180日以内に入院された場合 ▶入院保険金日額に入院した日数(実日数)を乗じた額をお支払いします。ただし、事故の日からその日を含めて180日を経過した後の入院に対してはお支払いできません。また、支払対象となる「入院した日数」は、1事故について180日を限度とします。 ※入院保険金が支払われる期間中、さらに別のケガをされても入院保険金は重複してはお支払いできません。	・脳疾患、疾病または心神喪失によって生じたケガ ・妊娠、出産、早産または流産によって生じたケガ ・外科的手術等の医療処置(保険金が支払われるケガを治療する場合を除きます。)によって生じたケガ
手術保険金	治療を目的として、公的医療保険制度に基づく医科診療報酬点数表により手術料の算定対象として列挙されている手術*1または先進医療*2に該当する所定の手術を受けた場合 ▶入院保険金日額の10倍(入院中の手術)または5倍(入院中以外の手術)の額をお支払いします。ただし、1事故について事故の日からその日を含めて180日以内に受けた手術1回に限りします。*3 *1 傷の処置や抜歯等お支払いの対象外の手術があります。 *2 「先進医療」とは、公的医療保険制度に定められる評価療養のうち、厚生労働大臣が定める先進医療(先進医療ごとに厚生労働大臣が定める施設基準に適合する病院または診療所等において行われるものに限りします。)をいいます(詳細については厚生労働省のホームページをご参照ください。)。なお、療養を受けた日現在、公的医療保険制度の給付対象になっている療養は先進医療とはみなされません(保険期間中に対象となる先進医療は変動する可能性があります。)。 *3 1事故に基づくケガに対して入院中と入院中以外の両方の手術を受けた場合には、入院保険金日額の10倍の額のみお支払いします。	・自動車等の乗用具を用いて競技、試運転、競技場でのフリー走行等を行っている間に生じた事故によって被ったケガ ・むちうち症や腰痛等で、医学的他覚所見のないもの ・ピッケル等の登山用具を使用する山岳登山、ハングライダー搭乗等の危険な運動等を行っている間に生じた事故によって被ったケガ ・オートバイ・自動車競争選手、自転車競争選手、猛獣取扱者、プロボクサー等の危険な職業に従事している間に生じた事故によって被ったケガ 等
通院保険金	医師等の治療を必要とし、事故の日からその日を含めて180日以内に通院(往診を含みます。)された場合 ▶通院保険金日額に通院した日数(実日数)を乗じた額をお支払いします。ただし、事故の日からその日を含めて180日を経過した後の通院に対しては、お支払いできません。また、支払対象となる「通院した日数」は、1事故について90日を限度とします。 ※入院保険金と重複してはお支払いできません。また、通院保険金が支払われる期間中、さらに別のケガをされても通院保険金は重複してはお支払いできません。 ※通院しない場合であっても、医師等の治療により所定の部位の骨折等によりギブス等*1を常時装着した日数についても、「通院した日数」に含みます。 *1 ギブス、ギブスシーネ、ギブスシャーレ、副子・シーネ固定、創外固定器、PTBキャスト、PTBブレースおよび三内式シーネをいいます。	

	保険金をお支払いする主な場合	保険金をお支払いしない主な場合
特定感染症危険補償特約	特定感染症の発病によって以下のような状態となった場合 ● 発病の日からその日を含めて180日以内に身体に後遺障害が生じた場合 ● 医師等の治療を必要とし、発病の日からその日を含めて180日以内に入院(感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律(感染症法)の規定による就業制限を含みます。)された場合 ● 医師等の治療を必要とし、発病の日からその日を含めて180日以内に通院(往診を含みます。)された場合 ▶傷害補償基本特約のうちの後遺障害保険金、入院保険金、通院保険金の各保険金をお支払いします(なお、お支払内容の詳細は、傷害補償基本特約の各保険金をご確認ください。)。 ※特定感染症とは・・・「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律(感染症法)」第6条第2項から第4項までに規定する一類感染症、二類感染症、三類感染症、同条第7項第3号に規定する新型コロナウイルス感染症*1または同条第8項の規定に基づく指定感染症*2をいいます。 *1 病原体がベータコロナウイルス属のコロナウイルス(令和2年1月に、中華人民共和国から世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限ります。)であるものに限ります。 *2 政令により一類感染症、二類感染症または三類感染症と同程度の措置が講じられている場合に限ります。	・地震・噴火またはこれらによる津波によって発病した特定感染症 ・保険の対象となる方の故意または重大な過失によって発病した特定感染症 ・保険金の受取人の故意または重大な過失によって発病した特定感染症(その方が受け取るべき金額部分) ・保険の対象となる方の闘争行為、自殺行為または犯罪行為によって発病した特定感染症 ・傷害補償基本特約の規定により保険金をお支払いするケガに起因する特定感染症 ・保険期間の初日からその日を含めて10日以内に発病した特定感染症(更新契約の場合を除きます。) 等

賠償責任に関する補償

	保険金をお支払いする主な場合	保険金をお支払いしない主な場合
個人賠償責任補償特約	国内外において以下のような事由により、保険の対象となる方が法律上の損害賠償責任を負う場合 ● 日常生活に起因する偶然な事故により、他人にケガ等をさせたり他人の財物を壊した場合 ● 保険の対象となる方が居住に使用する住宅の所有、使用または管理に起因する偶然な事故により、他人にケガ等をさせたり他人の財物を壊した場合 ● 電車等*1を運行不能にさせた場合 ● 国内で受託した財物(受託品)*2を壊したり盗まれた場合 ▶1事故について保険金額を限度に保険金をお支払いします。 ※国内での事故(訴訟が国外の裁判所に提起された場合等を除きます。)に限り、示談交渉は原則として東京海上日動が行います。 ※東京海上日動との直接折衝について相手方の同意が得られない場合や保険の対象となる方に損害賠償責任がない場合等には、相手方との示談交渉はできませんのでご注意ください。 ※他の保険契約または共済契約から保険金または共済金が支払われた場合には、保険金が差し引かれることがあります。 ※記載している保険金以外に事故時に発生する様々な費用について保険金をお支払いする場合があります。 ※保険の対象となる方またはそのご家族が、補償内容が同様の保険契約を他にご契約されているときには、補償が重複することがあります。ご加入にあたっては補償内容を十分ご確認ください。	・ご契約者または保険の対象となる方等の故意によって生じた損害 ・地震・噴火またはこれらによる津波によって生じた損害 ・職務の遂行に直接起因する損害賠償責任(仕事上の損害賠償責任*1)によって保険の対象となる方が被る損害 ・保険の対象となる方およびその同居の親族に対する損害賠償責任によって保険の対象となる方が被る損害 ・第三者との間の特別な約定により加重された損害賠償責任によって保険の対象となる方が被る損害 ・保険の対象となる方が所有、使用または管理する財物*2の損壊について、その財物について正当な権利を有する者に対する損害賠償責任によって保険の対象となる方が被る損害 ・心神喪失に起因する損害賠償責任によって保険の対象となる方が被る損害 ・航空機、船舶、車両*3または銃器の所有、使用または管理に起因する損害賠償責任によって保険の対象となる方が被る損害

賠償責任に関する補償

	保険金をお支払いする主な場合	保険金をお支払いしない主な場合
個人賠償責任補償特約	※1 汽車、電車、気動車、モノレール等の軌道上を走行する陸上の乗用具をいいます。 ※2 以下のものは受託品には含まれません。 ●自動車、原動機付自転車、自転車、船舶 ●サーフボード※ウィンドサーフィンを含む、ラジコン模型 ●携帯電話、ノート型パソコン ●コンタクトレンズ、眼鏡 ●手形その他の有価証券 ●クレジットカード、設計書、帳簿 ●動物や植物等の生物 ●乗車券、航空券、通貨 ●貴金属、宝石、美術品 ●データやプログラム等の無体物 ●1個または1組で100万円を超える物 等	・以下のような事由により、その受託品について正当な権利を有する者に対する損害賠償責任によって保険の対象となる方が被る損害 ■保険の対象となる方の自殺行為、犯罪行為または闘争行為 ■差押え、収用、没収、破壊等国または公共団体の公権力の行使 ■受託品が通常有する性質や性能を欠いていること ■自然の消耗または劣化、変色、さび、かび、ひび割れ、虫食い ■受託品が有する機能の喪失または低下を伴わないすり傷、かき傷、塗料の剥がれ落ち、単なる外観上の損傷や汚損 ■受託品に対する加工や修理・点検等の作業上の過失または技術の拙劣に起因する損害 ■受託品の電氣的事故または機械的事故 ■受託品の置き忘れまたは紛失※4 ■詐欺または横領 ■風、雨、雪、雹、砂塵等の吹き込みや浸み込みまたは漏入 ■受託品が委託者に引き渡された後に発見された受託品の損壊 等 ※1 保険の対象となる方がゴルフの競技または指導を職業としている方以外の場合、ゴルフの練習、競技または指導※5中に生じた事故による損害賠償責任は除きます。 ※2 受託品、ホテルまたは旅館等の宿泊が可能な施設および施設内の動産、ゴルフ場敷地内におけるゴルフ・カートを除きます。 ※3 自転車やゴルフ場敷地内におけるゴルフ・カートを除きます。 ※4 置き忘れまたは紛失後の盗難を含みます。 ※5 ゴルフの練習、競技または指導に付随してゴルフ場、ゴルフ練習場敷地内で通常行われる更衣、休憩、食事、入浴等の行為を含みます。
	国内における借戸室での火災、破裂・爆発、水濡れ、盗難の事故により、貸主に対して法律上の損害賠償責任を負う場合 ▶1事故について保険金額を限度に保険金をお支払いします。また、落雷、風災・雪災、外部からの物体の衝突等の事故により、法律上の損害賠償責任が生じないときであっても、貸主との契約に基づいて借戸室を修理した費用も補償します。 ※示談交渉は東京海上日動では行いません。 ※他の保険契約または共済契約から保険金または共済金が支払われた場合には、保険金が差し引かれることがあります。 ※記載している保険金以外に事故時に発生する様々な費用について保険金をお支払いする場合があります。 ※保険の対象となる方またはそのご家族が、補償内容が同様の保険契約を他にご契約されているときには、補償が重複することがあります。ご加入にあたっては補償内容を十分ご確認ください。	・ご契約者または保険の対象となる方等の故意によって生じた損害 ・地震・噴火またはこれらによる津波によって生じた損害 ・心神喪失によって生じた損害※1 ・借戸室の改築、増築、取りこわし等の工事によって生じた損害※1 ・借戸室の貸主との間の特別な約定により加重された損害賠償責任によって保険の対象となる方が被る損害※1 ・借戸室を貸主に引き渡した後に発見された借戸室の損壊に起因する損害賠償責任によって保険の対象となる方が被る損害※1 等 ※1 法律上の損害賠償責任が生じないときに、貸主との契約に基づいて借戸室を修理した費用については、補償の対象となります。

賠償責任に関する補償

財産に関する補償

	保険金をお支払いする主な場合	保険金をお支払いしない主な場合
携行品特約	国内外において、保険の対象となる方が所有する家財のうち、一時的に持ち出された家財、住宅外において携行中の家財または住宅外で取得し住宅に持ち帰るまでの間の家財に損害が生じた場合 ▶損害額（修理費）から免責金額（自己負担額：1事故について5,000円）を差し引いた額を、保険期間を通じて保険金額を限度に保険金としてお支払いします。ただし、損害額は時価額を限度とします。 ※他の保険契約または共済契約から保険金または共済金が支払われた場合には、保険金が差し引かれることがあります。 ※記載している保険金以外に事故時に発生する様々な費用について保険金をお支払いする場合があります。 ※保険の対象となる方またはそのご家族が、補償内容が同様の保険契約を他にご契約されているときには、補償が重複することがあります。ご加入にあたっては補償内容を十分ご確認ください。 以下のものは補償の対象となりません。 ●自動車、原動機付自転車、自転車、船舶 ●サーフボード※ウィンドサーフィンを含む、ラジコン模型 ●携帯電話、ノート型パソコン ●コンタクトレンズ、眼鏡 ●手形その他の有価証券（小切手は含みません。） ●クレジットカード、設計書、帳簿 ●商品・製品や設備・什器（じゅうき） ●動物や植物等の生物 ●データやプログラム等の無体物 等	・ご契約者、保険の対象となる方またはその同居の親族等の故意または重大な過失によって生じた損害 ・地震・噴火またはこれらによる津波によって生じた損害 ・保険の対象となる方の自殺行為、犯罪行為または闘争行為による損害 ・無免許運転や酒気帯び運転をしている間に生じた事故による損害 ・差押え、収用、没収、破壊等国または公共団体の公権力の行使に起因する損害 ・保険の対象が通常有する性質や性能を欠いていることに起因して生じた損害 ・自然の消耗または劣化、変色、さび、かび、ひび割れ、虫食い等による損害 ・保険の対象が有する機能の喪失または低下を伴わないすり傷、かき傷、塗料の剥がれ落ち、単なる外観上の損傷や汚損による損害 ・保険の対象に対する加工や修理・点検等の作業上の過失または技術の拙劣に起因する損害 ・電氣的事故または機械的事故に起因する損害 ・保険の対象の置き忘れまたは紛失※1に起因する損害 ・詐欺または横領に起因する損害 ・風、雨、雪、雹、砂塵等の吹き込みや浸み込みまたは漏入により生じた損害 ・保険の対象となる方の居住する住宅内（敷地を含みません。）で生じた事故による損害 等 ※1 置き忘れまたは紛失後の盗難を含みます。

財産・費用に関する補償

費用に関する補償

	保険金をお支払いする主な場合	保険金をお支払いしない主な場合
救援者費用等補償特約	国内外において以下のような事由により、保険の対象となる方またはその親族等が搜索費用や現地へ赴くための交通費・宿泊料等を負担した場合 ●保険の対象となる方が搭乗している航空機・船舶が行方不明になった場合 ●急激かつ偶然な外来の事故により、保険の対象となる方の生死が確認できない場合または、緊急の搜索・救助活動を要する状態になったことが公的機関により確認された場合 ●保険の対象となる方の居住に使用する住宅外において被った急激かつ偶然な外来の事故によるケガのため、保険の対象となる方が事故の日からその日を含めて180日以内に死亡または継続して14日以上入院した場合 等 ▶1事故について保険金額を限度に保険金をお支払いします。 ※他の保険契約または共済契約から保険金または共済金が支払われた場合には、保険金が差し引かれることがあります。 ※保険の対象となる方またはそのご家族が、補償内容が同様の保険契約を他にご契約されているときには、補償が重複することがあります。ご加入にあたっては補償内容を十分ご確認ください。	・ご契約者または保険の対象となる方等の故意または重大な過失によって生じた損害 ・保険金の受取人の故意または重大な過失によって生じた損害（その方が受け取るべき金額部分） ・地震・噴火またはこれらによる津波によって生じた損害 ・保険の対象となる方の闘争行為、自殺行為または犯罪行為によって生じた損害 ・無免許運転や酒気帯び運転をしている場合に生じた事故によって生じた損害 ・脳疾患、疾病または心神喪失によって生じた損害 ・妊娠、出産、早産または流産によって生じた損害 ・外科的手術等の医療処置（保険金が支払われるケガを治療する場合を除きます。）によって生じた損害 ・ビッケル等の登山用具を使用する山岳登はん、ハングライダー搭乗等の危険な運動等を行っている間に生じた事故によって生じた損害 ・むちうち症や腰痛等で、医学的他覚所見のないものによる損害 等

医療補償

病気やケガ等により、保険の対象となる方が入院・手術をされた場合等（介護療養型医療施設または介護医療院における入院・手術等を除きます。）に保険金をお支払いします。

この補償については、死亡に対する補償はありません。
保険金支払の対象となっていない身体障害の影響等によって、保険金を支払うべき身体障害の程度が重大となった場合は、東京海上日動は、その影響がなかったときに相当する金額を支払います。詳細は、《お問い合わせ先》までご連絡ください。

		保険金をお支払いする主な場合	保険金をお支払いしない主な場合									
医療補償基本特約	疾病入院保険金	病気によって医師等の治療を必要とし、かつ、保険期間中にその治療のため入院を開始し、その入院の日数が疾病入院免責日数*1を超えた場合 ▶疾病入院保険金日額に入院した日数（入院日数－疾病入院免責日数*1）を乗じた額をお支払いします。 ただし、1回の入院について、疾病入院保険金支払限度日数*2を限度（疾病入院免責日数*1は含みません。）とします。 ※疾病入院保険金が支払われる入院中、さらに別の病気をされても疾病入院保険金は重複してはお支払いできません。 *1 保険金をお支払いしない日数として、契約により取り決めた一定の日数のことをいいます。 *2 1回の入院に対して保険金をお支払いする限度日数として、契約により取り決めた一定の日数のことをいいます。	・地震・噴火またはこれらによる津波によって生じた病気やケガ*1 ・保険の対象となる方の故意または重大な過失によって生じた病気やケガ ・保険金の受取人の故意または重大な過失によって生じた病気やケガ（その方が受け取るべき金額部分） ・保険の対象となる方の闘争行為、自殺行為または犯罪行為によって生じた病気やケガ ・無免許運転や酒気帯び運転をしている場合に生じた病気やケガ ・精神障害を原因とする事故によって被ったケガ ・麻薬、大麻、あへん、覚せい剤、危険ドラッグ、シンナー等の使用によって生じた病気やケガ ・アルコール依存および薬物依存 ・むちうち症や腰痛等で、医学的他覚所見のないもの ・この保険契約が継続されてきた最初の保険契約（初年度契約といいます。）の保険始期時点で、既に被っている病気やケガ*2*3 等									
	疾病手術保険金	病気の治療のため、保険期間中に公的医療保険制度に基づく医科診療報酬点数表により手術料の算定対象として列挙されている手術*1を受けられた場合 ▶以下の金額をお支払いします。 <table><tr><td>お支払額▶</td><td>①重大手術（詳細は欄外ご参照）</td><td>疾病入院保険金日額の40倍</td></tr><tr><td></td><td>②①以外の入院中の手術</td><td>疾病入院保険金日額の10倍</td></tr><tr><td></td><td>③①および②以外の手術</td><td>疾病入院保険金日額の5倍</td></tr></table> *1 傷の処置、切開術（皮膚、鼓膜）、抜歯等お支払いの対象外の手術があります。また、時期を同じくして*2 2種類以上の手術を受けた場合には、いずれか1種類の手術についてのみ保険金をお支払いします。 *2 「時期を同じくして」とは「手術室に入ってから出るまで」をいいます。	お支払額▶	①重大手術（詳細は欄外ご参照）	疾病入院保険金日額の40倍		②①以外の入院中の手術	疾病入院保険金日額の10倍		③①および②以外の手術	疾病入院保険金日額の5倍	*1 該当した保険の対象となる方の数の増加が、この保険の計算の基礎に及ぼす影響が少ない場合は、その程度に応じ、保険金の全額をお支払いすることや、その金額を削減してお支払いすることがあります。 *2 初年度契約の保険始期時点で、既に被っている病気やケガについても、初年度契約の保険始期日から1年を経過した後に保険金支払事由に該当したときは、保険金のお支払いの対象とします。 *3 告知対象外の病気やケガであったり、正しく告知いただいていた場合であっても、保険金のお支払いの対象とならないことがあります。
	お支払額▶	①重大手術（詳細は欄外ご参照）	疾病入院保険金日額の40倍									
	②①以外の入院中の手術	疾病入院保険金日額の10倍										
	③①および②以外の手術	疾病入院保険金日額の5倍										
放射線治療保険金	病気やケガの治療のため、保険期間中に公的医療保険制度に基づく医科診療報酬点数表により放射線治療料の算定対象として列挙されている放射線治療*1を受けられた場合 ▶疾病入院保険金日額の10倍の額をお支払いします。 *1 血液照射を除きます。お支払いの対象となる放射線治療を複数回受けた場合は、施術の開始日から、60日の間に1回の支払を限度とします。											

※「1回の入院」とは次のいずれかに該当する入院をいいます。
・入院を開始してから退院するまでの継続した入院
・退院後、その日を含めて180日を経過した日までに再入院した場合で、その再入院が前の入院の原因となった病気やケガ（医学上重要な関係がある病気やケガを含みます。）によるものであるときは、再入院と前の入院を合わせた入院
※「重大手術」とは以下の手術をいいます。ただし、腹腔鏡・胸腔鏡・穿頭は除きます（「重大手術の支払倍率変更に関する特約」が自動セットされています。）。
①がんに対する開頭・開胸・開腹手術および四肢切断術
②脊髄腫瘍摘出術、頭蓋内腫瘍開頭摘出術、縦隔腫瘍開胸摘出術
③心臓・大動脈・大静脈・肺動脈・冠動脈への開胸・開腹術
④日本国内で行われた、心臓・肺・肝臓・脾臓・腎臓の全体または一部の移植手術

	保険金をお支払いする主な場合	保険金をお支払いしない主な場合
医療補償基本特約	傷害入院保険金	・地震・噴火またはこれらによる津波によって生じた病気やケガ*1 ・保険の対象となる方の故意または重大な過失によって生じた病気やケガ ・保険金の受取人の故意または重大な過失によって生じた病気やケガ（その方が受け取るべき金額部分） ・保険の対象となる方の闘争行為、自殺行為または犯罪行為によって生じた病気やケガ ・無免許運転や酒気帯び運転をしている場合に生じた病気やケガ ・精神障害を原因とする事故によって被ったケガ ・麻薬、大麻、あへん、覚せい剤、危険ドラッグ、シンナー等の使用によって生じた病気やケガ ・アルコール依存および薬物依存 ・むちうち症や腰痛等で、医学的他覚所見のないもの ・この保険契約が継続されてきた最初の保険契約（初年度契約といいます。）の保険始期時点で、既に被っている病気やケガ*2*3 等
	傷害手術保険金	*1 傷の処置、切開術（皮膚、鼓膜）、抜歯等お支払いの対象外の手術があります。また、時期を同じくして*2 2種類以上の手術を受けた場合には、いずれか1種類の手術についてのみ保険金をお支払いします。 *2 「時期を同じくして」とは「手術室に入ってから出るまで」をいいます。 *1 該当した保険の対象となる方の数の増加が、この保険の計算の基礎に及ぼす影響が少ない場合は、その程度に応じ、保険金の全額をお支払いすることや、その金額を削減してお支払いすることがあります。 *2 初年度契約の保険始期時点で、既に被っている病気やケガについても、初年度契約の保険始期日から1年を経過した後に保険金支払事由に該当したときは、保険金のお支払いの対象とします。 *3 告知対象外の病気やケガであったり、正しく告知いただいていた場合であっても、保険金のお支払いの対象とならないことがあります。

※「1回の入院」とは次のいずれかに該当する入院をいいます。
・入院を開始してから退院するまでの継続した入院
・退院後、その日を含めて180日を経過した日までに再入院した場合で、その再入院が前の入院の原因となった病気やケガ（医学上重要な関係がある病気やケガを含みます。）によるものであるときは、再入院と前の入院を合わせた入院
※「重大手術」とは以下の手術をいいます。ただし、腹腔鏡・胸腔鏡・穿頭は除きます（「重大手術の支払倍率変更に関する特約」が自動セットされています。）。
①がんに対する開頭・開胸・開腹手術および四肢切断術
②脊髄腫瘍摘出術、頭蓋内腫瘍開頭摘出術、縦隔腫瘍開胸摘出術
③心臓・大動脈・大静脈・肺動脈・冠動脈への開胸・開腹術
④日本国内で行われた、心臓・肺・肝臓・脾臓・腎臓の全体または一部の移植手術

介護補償

保険の対象となる方が、保険期間中に公的介護保険制度に基づく所定の要介護状態の認定を受けた状態となった場合等に保険金をお支払いします。

この補償については、死亡に対する補償はありません。

保険金支払の対象となっていない身体障害の影響等によって、保険金を支払うべき要介護状態の程度が重大となった場合は、東京海上日動は、その影響がなかったときに相当する金額をお支払いします。詳細は、《お問い合わせ先》までご連絡ください。

[独自基準追加型(要介護2)]

介護補償基本特約 + 公的介護保険制度連動補償部分の要介護3以上から要介護2以上への補償拡大に関する特約 + 所定の要介護状態(要介護2用)の追加補償特約		保険金をお支払いする主な場合	保険金をお支払いしない主な場合
介護補償基本特約 + 公的介護保険制度連動補償部分の要介護3以上から要介護2以上への補償拡大に関する特約 + 所定の要介護状態(要介護2用)の追加補償特約		保険期間中に公的介護保険制度に基づく要介護2以上の認定を受けた状態となった場合または以下の①および②のいずれにも該当する状態であることを医師等に診断され、その状態が診断された日から90日を超えて継続した場合 ①下表の左欄に記載するいずれかの行為の際に、右欄に記載する状態であること。	
		歩行	壁、手すり、いすの背または杖等につかまらなければ、平らな床の上で両足をたったまま10秒間程度の立位の保持ができず、杖、義足、歩行器等を用いても5m程度の歩行ができない。
		寝返り	ベッド柵、ひも、バー、サイドレール等につかまっても他人の介助なしでは寝返りができない。
		入浴その他の複雑な動作等	次のア.またはイ.のいずれかに該当する状態 ア.車いす等への移乗および入浴時の洗身に支障がある状態(次の(ア)および(イ)のいずれにも該当する状態をいいます。) (ア) 他人により事故が起こらないよう見守られなければ、自分ではベッドから車いすもしくはいすへ、車いすからいすへ、ベッドからポータブルトイレへ、車いすもしくはいすからポータブルトイレへまたは畳からポータブルトイレへ等乗り移ることができない。 (イ) 自分では入浴時の洗身(浴室内でスポンジや手ぬぐい等に石鹸等をつけて全身を洗うことをいい、洗髪行為は含みません)を行うことが全くできないまたは介護者にスポンジや手ぬぐい等に石鹸等をつけてもらわなければ、体の一部を自分で洗うことができない。 イ.介護者に抱えられないと浴槽への出入りができない状態であり、かつ自分では全く洗身(スポンジや手ぬぐい等に石鹸等をつけて全身を洗うこと)ができない。
		排せつ等日常生活上の一部の行為	次のア.からウ.のいずれにも該当する状態 ア.自分では排尿および排せつ後のいずれの後始末(身体のごれた部分を拭く行為またはトイレ内でごれた部分を拭く行為)をすることができない。(自分で排尿および排せつ後の身体のごれたところを拭く行為ができる場合であっても、介助者に紙を用意してもらわないとできない場合を含む。) イ.歯磨きの一連の行為を一人で行うことが全くできないまたは部分的に介助が必要な状態である。 ウ.洗顔の一連の行為を一人で行うことが全くできないまたは部分的に介助が必要な状態である。
		②以下のいずれかの状態であるため他人の介護が必要な状態であること。 ・衣類の着脱の際に、(1)ボタンのかけはずし、(2)上衣の着脱、(3)ズボンまたはパンツ等の着脱、(4)靴下の着脱について、次のア.またはイ.のいずれかに該当する状態であること。 ア. 2つ以上の行為についてできない状態 イ. できない行為または見守りを必要とする行為が合わせて3つ以上ある状態 ・認知症により以下に記載する問題行為が2項目以上見られること。ただし、(1)から(21)までの項目については、少なくとも1ヶ月間に1回以上の頻度で現れる状態をいいます。 (1) ひどい物忘れがある。 (2) まわりのことに関心を示さないことがある。 (3) 物を盗られた等と被害的になることがある。 (4) 作話をし周囲に言いふらすことがある。 (5) 実際にはないものが見えたり、聞こえることがある。 (6) 泣いたり、笑ったりして感情が不安定になることがある。 (7) 夜間不眠あるいは昼夜の逆転がある。 (8) 暴言や暴行のいずれかまたは両方が現れることがある。 (9) 口や物を使って周囲に不快な音を立てることがある。 (10) 周囲に迷惑となるような大声をだすことがある。 (11) 介護者の助言や介護に抵抗することがある。 (12) 目的もなく動き回ることがある。 (13) 自分がどこにいるかわからず「家に帰る」等と言い落ち着きが無いことがある。 (14) 外出すると病院、施設、家等に1人で戻れなくなることがある。 (15) 1人で外に出たがり目を離せないことがある。 (16) いろいろなものを集めたり、無断でもってくることがある。 (17) 火の始末や火元の管理ができないことがある。 (18) 物や衣類を壊したり、破いたりすることがある。 (19) 排せつ物を意図的に弄んだり、尿をまき散らすことがある。 (20) 食べられないものを口に入れることがある。 (21) 周囲が迷惑している性的行動がある。 (22) 自力で内服薬を服用できない。 (23) 金銭の管理ができない。 (24) 自分の生年月日および年令のいずれも答えることができない。 (25) 現在の季節を理解できない。 (26) 今いる場所の認識ができない。 ▶介護補償保険金額の全額をお支払いします。 ただし、保険の対象となる方1名につき1回に限ります。	
		・地震・噴火またはこれらによる津波によって生じた要介護状態*1 ・保険の対象となる方の故意または 重大な過失 によって生じた要介護状態 ・保険金の受取人の 故意 または 重大な過失 によって生じた要介護状態(その方が受け取るべき金額部分) ・保険の対象となる方の闘争行為、自殺行為または犯罪行為によって生じた要介護状態 ・ 無免許運転や酒気帯び運転 をしている間の事故により生じた要介護状態 ・麻薬、大麻、あへん、覚せい剤、危険ドラッグ、シンナー等の使用によって生じた要介護状態 ・アルコール依存および薬物依存によって生じた要介護状態 ・先天性疾患によって生じた要介護状態 ・医学的他覚所見のないむちうち症や腰痛等によって生じた要介護状態 ・この保険契約が継続されてきた最初の保険契約(初年度契約といいます。)の保険始期時点で、既に被っている病気やケガ等による要介護状態*2*3 等	
		*1 該当した保険の対象となる方の数の増加が、この保険の計算の基礎に及ぼす影響が少ない場合は、その程度に応じ、保険金の全額をお支払いすることや、その金額を削減してお支払いすることがあります。 *2 初年度契約の保険始期時点で、既に被っている病気やケガ等による要介護状態についても、初年度契約の保険始期日から1年を経過した後に開始した要介護状態については、保険金のお支払いの対象とします。 *3 要介護状態の原因が告知対象外の病気やケガであったり、正しく告知いただいていた場合であっても、保険金のお支払いの対象とならないことがあります。	

このパンフレットは団体総合生活保険の概要をご紹介します。ご加入にあたっては、必ず「重要事項説明書」をよくお読みください。ご不明な点等がある場合には、《お問い合わせ先》までご連絡ください。

重要事項説明書〔契約概要・注意喚起情報のご説明〕 団体総合生活保険にご加入いただく皆様へ

ご加入前に必ずご理解いただきたい大切な情報を記載しています。必ず最後までお読みください。

※ご家族を保険の対象となる方とする場合等、ご加入者と保険の対象となる方が異なる場合には、本内容を保険の対象となる方全員にご説明ください。

※ご不明な点や疑問点がありましたら、《お問い合わせ先》までご連絡ください。

【マークのご説明】



保険商品の内容をご理解いただくための事項



ご加入に際してお客様にとって不利益になる事項等、特にご注意いただきたい事項

I ご加入前におけるご確認事項

1 商品の仕組み



この保険は、団体をご契約者とし、団体の構成員等を保険の対象となる方とする団体契約です。保険証券を請求する権利、保険契約を解約する権利等は原則としてご契約者が有します。基本となる補償、ご加入者のお申出により任意にご加入いただける特約等はパンフレット等に記載のとおりです。ご契約者となる団体やご加入いただける保険の対象となる方で本人の範囲等につきましては、パンフレット等をご確認ください。

2 基本となる補償および主な特約の概要等



基本となる補償の“保険金をお支払いする主な場合”、“保険金をお支払いしない主な場合”や主な特約の概要等につきましては、パンフレット等をご確認ください。

3 補償の重複に関するご注意



以下の特約をご契約される場合で、保険の対象となる方またはそのご家族が、補償内容が同様の保険契約*1を他にご契約されているときには、補償が重複することがあります。補償が重複すると、対象となる事故について、どちらのご契約からでも補償されますが、いずれか一方のご契約からは保険金が支払われない場合があります。補償内容の差異や保険金額をご確認のうえで、特約等の要否をご検討ください*2。

- | | | | |
|-----------------------|--------------|-------------|----------------------|
| ●個人賠償責任補償特約 | ●借家人賠償責任補償特約 | ●携行品特約 | ●住宅内生活用動産特約 |
| ●ホールインワン・アルバトロス費用補償特約 | | ●救援者費用等補償特約 | ●葬祭費用補償特約(医療用・所得補償用) |
| ●がん葬祭費用補償特約 | ●育英費用補償特約 | ●学業費用補償特約 | ●疾病による学業費用補償特約 |
| ●医療費用補償特約 | | | |

*1 団体総合生活保険以外の保険契約にセットされる特約や東京海上日動以外の保険契約を含みます。

*2 1 契約のみにセットされる場合、将来、そのご契約を解約されたときや、同居から別居への変更等により保険の対象となる方が補償の対象外になったとき等は、補償がなくなることがありますので、ご注意ください。

4 保険金額等の設定



この保険での保険金額*1は、あらかじめ定められたタイプの中からお選びいただくこととなります。タイプについての詳細はパンフレット等をご確認ください。

医療補償、介護補償においては、保険期間の途中でご加入者からのお申出による保険金額*1の増額等はできません*2。

*1 団体長期障害所得補償については、支払基礎所得額*4×約定給付率とします。

*2 がん補償においては、更新時でも保険金額の増額等はできません。

【所得補償・団体長期障害所得補償】

所得補償基本特約、団体長期障害所得補償基本特約の保険金額*1は、平均月間所得額*3以下(平均月間所得額の85%以下を目安)で設定してください(保険金額または支払基礎所得額が保険の対象となる方の平均月間所得額*3を上回っている場合には、その上回る部分については保険金をお支払いできませんので、ご注意ください。)

*1 団体長期障害所得補償については、支払基礎所得額*4×約定給付率とします。

*2 がん補償においては、更新時でも保険金額の増額等はできません。

*3 直前12か月における保険の対象となる方の所得*5の平均月額をいいます(ただし、所得補償で家事従事者特約をセットされる場合は、171,000円となります。)

*4 保険金の算出の基礎となる加入依頼書等記載の額をいいます。定率型の場合は、原則として健康保険法上の標準報酬月額で設定します。

*5 所得補償の場合は、「加入依頼書等に記載の職業・職務によって得られる給与所得・事業所得・雑所得の総収入金額」から「就業不能の発生にかかわらず得られる収入」および「就業不能により支出を免れる金額」を控除したものをいいます。団体長期障害所得補償の場合は、「業務に従事することによって得られる給与所得・事業所得・雑所得の総収入金額」から「就業障害の発生にかかわらず得られる収入」および「就業障害により支出を免れる金額」を控除したものをいいます。

5 保険期間および補償の開始・終了時期



ご加入の保険契約の保険期間および補償の開始・終了時期については、パンフレット等をご確認ください。保険の種類によっては、新規ご加入の場合、保険金お支払いの対象とならない期間がありますので、詳しくはパンフレット等にてご確認ください。

6 保険料の決定の仕組みと払込方法等

(1)保険料の決定の仕組み



保険料はご加入いただくタイプ等によって決定されます。保険料については、パンフレット等をご確認ください。

(2)保険料の払込方法



払込方法・払込回数については、パンフレット等をご確認ください。

(3)保険料の一括払込みが必要な場合について



(※団体構成員またはそのご家族等から、ご加入者を募集する所定の団体契約で、保険料負担者がご加入者のご契約が対象となります。)

ご加入者が以下の事由に該当した場合、そのご加入者の残りの保険料を一括して払込みいただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

①退職等により給与の支払いを受けられなくなった場合

②脱退や退職等により、その構成員でなくなった場合

③資本関係の変更により、お勤めの企業が親会社の系列会社でなくなった場合

④ご加入者の加入部分*1に相当する保険料が、集金日の属する月の翌月末までに集金されなかった場合 等

※保険期間の開始後、保険料の払込み前に事故が発生していた場合、その後、ご契約者を経て保険料を払込みいただく場合は保険金をお支払いします。ただし、保険料を払込みいただけない場合には、ご加入者の加入部分*1について、保険金をお支払いできず、お支払いした保険金を回収させていただくことや、ご加入者の加入部分*1を解除することがありますのでご注意ください。

※医療補償、介護補償が解除となった後、新たにご加入される場合には、新たなご加入について、保険の対象となる方の健康状態等によりお引受けをお断りさせていただくことや補償対象外となる病気・症状が新たに設定されることがあります。その他ご注意ください内容につきましては、「Ⅱ-1告知義務」をご確認ください。

*1 ご加入者によってご加入された、すべての保険の対象となる方およびすべての補償をいいます(例えば、加入内容変更による変更保険料を払込みいただけない場合、変更保険料を払込みいただけない補償だけでなく、ご加入されているすべての保険の対象となる方およびすべての補償が対象となります。)

7 満期返れい金・契約者配当金



この保険には満期返れい金・契約者配当金はありません。

Ⅱ ご加入時におけるご注意事項

1 告知義務



加入依頼書等に★や☆のマークが付された事項は、ご加入に関する重要な事項(告知事項)ですので、正確に記載してください(東京海上日動の代理店には、告知受領権があります。)。お答えいただいた内容が事実と異なる場合や告知事項について事実を記載しない場合は、ご加入を解除し、保険金をお支払いできないことがあります。

※告知事項かつ通知事項には☆のマークが付されています。通知事項については「Ⅲ-1 通知義務等」をご参照ください。なお、告知事項は、お引受けする補償ごとに異なり、お引受けする補償によっては、★や☆のマークが付された事項が告知事項にあたらない場合もあります。お引受けする補償ごとの告知事項は下表をご確認ください(項目名は補償によって異なることがあります。)。また、ご加入後に加入内容変更として下表の補償を追加する場合も同様に、変更時点での下表の事項が告知事項となります。

【告知事項・通知事項一覧】

★:告知事項 ☆:告知事項かつ通知事項

基本補償・特約 項目名	傷害補償	医療補償 がん補償	介護補償	個人賠償責任 借家人賠償責任 携行品 救援者費用等
生年月日	★*1	★	★	★*2
性別	—	★	★*3	—
職業・職務*4	☆*5	—	—	—
健康状態告知*6	—	★	★	—

※すべての補償について「他の保険契約等*7」を締結されている場合は、その内容についても告知事項(★)となります。また、医療費用補償特約(こども傷害補償)をセットされる場合には、「公的医療保険制度」についても告知事項かつ通知事項(☆)となります。

*1 こども傷害補償の場合のみ、告知事項となります。

*2 こども傷害補償にご加入される場合のみ、告知事項となります。

*3 年金払介護補償特約をセットされる場合のみ、告知事項となります。

*4 新たに職業に就いた場合や就いていた職業をやめた場合を含みます。

*5 交通事故傷害危険のみ補償特約、ゴルフ中の傷害危険のみ補償特約をセットされる場合には、告知事項・通知事項とはなりません。

*6 新たにご加入される場合、または更新にあたり補償内容をアップされる場合のみとなります。

*7 この保険以外にご契約されている、この保険と全部または一部について支払責任が同一である保険契約や共済契約をいいます。他の保険契約等がある場合、そのご契約の内容によっては、東京海上日動にて保険のお引受けができない場合があります。

【医療補償・介護補償の「告知」(健康状態告知書)】

①告知義務について

保険制度は多数の人々が保険料を出しあって相互に補償しあう制度です。したがって、初めから健康状態の悪い方や危険な職業に従事している方等が他の方と同じ条件でご加入されると、保険料負担の公平性が保たれません。このため、ご加入にあたっては、必ず保険の対象となる方ご自身が、過去の病気やケガ、現在の健康状態、身体の障害状態等について「健康状態告知書」で東京海上日動がおたずねすることについて、事実をありのままに正確にもれなくご回答ください。

なお、介護補償にご加入される場合または介護補償を追加される場合で、団体構成員のご家族(団体構成員の配偶者*8、子供、両親、兄弟及び団体構成員と同居の親族)を保険の対象となる方とするときには、介護補償の健康状態告知に関して、保険の対象となる方からのご依頼を受けた団体構成員が保険の対象となる方の健康状態を確認したうえで、代理で告知いただけます。その場合は、健康状態告知を行った方がご署名ください。

- ＊8 婚姻の届出をしていないが事実上婚姻関係と同様の事情にある方および戸籍上の性別が同一であるが婚姻関係と異ならない程度の実質を備える状態にある方を含みます(以下の要件をすべて満たすことが書面等により確認できる場合に限りです。婚姻とは異なります。)。
- a. 婚姻意思*9を有すること
- b. 同居により夫婦同様の共同生活を送っていること
- ＊9 戸籍上の性別が同一の場合は、夫婦同様の関係を将来にわたり継続する意思をいいます。

②過去に病気やケガをされたことがある方等への引受対応について

東京海上日動では、ご加入者間の公平性を保つため、お客様のお身体の状態に応じた引受対応を行うことがあります。過去に病気やケガをされたことがある場合等でも、その内容によってはお引受けすることがあります(お引受けできないことや、「特定疾病等不担保」という特別な条件をつけてご加入内容を制限してお引受けすることもあります。)

③告知が事実と相違する場合

- 告知していただく事柄は、告知書に記載してあります。もし、これらについて、その事実を告知されなかったり、事実と違うことを告知された場合、責任開始日*10から1年以内であれば、東京海上日動は「告知義務違反」としてご加入を解除することがあります*11。
- 責任開始日*10から1年を経過していても、保険金の支払事由が1年以内に発生していた場合には、ご加入を解除することがあります。
- ご加入を解除した場合には、たとえ保険金をお支払いする事由が発生していても、これをお支払いすることはできません*12(ただし、「保険金の支払事由の発生」と「解除の原因となった事実」との因果関係によっては、保険金をお支払いすることがあります。)
- ＊10 ご加入を更新されている場合は、告知されなかったり、事実と違うことを告知されたご契約の支払責任の開始日をいいます。
- ＊11 更新時に補償内容をアップされた場合は、補償内容をアップされた部分を解除することがあります。
- ＊12 更新時に補償内容をアップされた部分を解除した場合は、補償内容をアップされた部分については保険金をお支払いすることはできません。

<前記以外で、保険金をお支払いできない場合>

前記のご加入を解除させていただく場合以外にも、告知義務違反の内容が特に重大な場合、詐欺による取消し等を理由として、保険金をお支払いできないことがあります。この場合、告知義務違反による解除の対象外となる1年経過後にもご加入を取消し等させていただくことがあります。(例)「現在の医療水準では治ゆが困難な病気・症状について故意に告知されなかった場合」等

④告知内容の確認について

ご加入後、または保険金のご請求等の際、告知内容についてご確認させていただく場合があります。

2 クーリングオフ



ご加入される保険は、クーリングオフの対象外です。

3 保険金受取人



[傷害補償]

死亡保険金受取人を特定の方に指定する場合*1は、必ず保険の対象となる方の同意を得てください(指定がない場合、死亡保険金は法定相続人にお支払いします。)。同意のないままにご加入をされた場合、ご加入は無効となります。

死亡保険金受取人を特定の方に指定する場合は、保険の対象となる方のご家族等に対し、この保険へのご加入についてご説明くださいますようお願いいたします。死亡保険金受取人の指定を希望される場合は、お手数ですが、《お問い合わせ先》までお申出ください。

＊1 家族型補償(本人型以外)の場合、保険の対象となる方ご本人以外の保険の対象となる方について、死亡保険金受取人を特定の方に指定することはできません。

4 現在のご加入の解約・減額を前提とした新たなご契約のご注意



- 現在のご加入を解約、減額等をすることを前提に、新たな保険契約へのご加入をご検討される場合は、特に以下の点にご注意ください。
- ・補償内容や保険料が変更となったり、各種サービスを受けられなくなることがあります。
 - ・新たにご加入の保険契約の保険料については、団体契約の始期日時点の保険の対象となる方の年齢により計算されます。
 - ・新たにご加入の保険契約の保険料の計算の基礎となる予定利率・予定死亡率等が、解約・減額される契約と異なることがあります。
 - ・保険の対象となる方の健康状態等により、お引受けをお断りする場合や補償対象外となる病気・症状を設定のうえでお引受けをさせていただく場合があります。
 - ・新たにご加入の保険契約に対しても告知義務がありますので、告知義務違反による解除や詐欺による取消しが適用される場合があります。
 - ・新たにご加入の保険契約の保険始期前に被った傷病に対しては、保険金が支払われない場合があります。
 - ・新たにご加入の保険契約の保険始期日と責任開始日が異なることがあります(例えば、乗換えで新たにご加入の保険契約が「がん補償」である場合、保険始期日からその日を含めて90日を経過した日の翌日の午前0時より前の期間については、保険金をお支払いできません。この期間中に現在のご加入を解約すると、がんの補償のない期間が発生します。)

Ⅲ ご加入後におけるご注意事項

1 通知義務等



[通知事項]

加入依頼書等に☆のマークが付された事項(通知事項)に内容の変更が生じた場合には、遅滞なく《お問い合わせ先》までご連絡ください。ご連絡がない場合は、お支払いする保険金が削減されることがあります。なお、通知事項はお引受けする補償ごとに異なり、お引受けする補償によっては、☆のマークが付された事項が通知事項にあたらない場合もあります。お引受けする補償ごとの通知事項は、「Ⅱ-1 告知義務【告知事項・通知事項一覧】」をご参照ください。

[その他ご連絡いただきたい事項]

●すべての補償共通

ご加入者の住所等を変更した場合は、遅滞なく《お問い合わせ先》までご連絡ください。

●借家人賠償責任

保険の対象となる方の住所を変更する場合には、**あらかじめ《お問い合わせ先》**までご連絡ください。

[ご加入後の変更]

ご加入後、ご加入内容変更や脱退を行う際には変更日・脱退日より前にご連絡ください。また、保険期間中に、本保険契約の加入対象者でなくなった場合には、脱退の手続きをいただく必要がありますが、保険期間の終了時までには補償を継続することが可能なケースがありますので、《お問い合わせ先》までご連絡ください。

ご加入内容変更をいただいてから1か月以内に保険金請求のご連絡をいただいた場合には、念のため、《お問い合わせ先》の担当者に、その旨をお伝えいただきますようお願いいたします。

2 解約されるとき



ご加入を解約される場合は、《お問い合わせ先》までご連絡ください。

- ・ご加入内容および解約の条件によっては、東京海上日動所定の計算方法で保険料を返還、または未払保険料を請求*1することがあります。返還または請求する保険料の額は、保険料の払込方法や解約理由により異なります。
- ・返還する保険料があっても、原則として払込みいただいた保険料から既経過期間*2に対して「月割」で算出した保険料を差し引いた額よりも少なくなります。
- ・満期日を待たずに解約し、新たにご加入される場合、補償内容や保険料が変更となったり、各種サービスを受けられなくなることがあります。

*1 解約日以降に請求することがあります。

*2 始期日からその日を含めて解約日までの、既に経過した期間をいいます。

3 保険の対象となる方からのお申出による解約



傷害補償・医療補償・介護補償においては、保険の対象となる方からのお申出により、その保険の対象となる方に係る補償を解約できる制度があります。制度および手続きの詳細については、《お問い合わせ先》までご連絡ください。また、本内容については、保険の対象となる方全員にご説明くださいますようお願いいたします。

4 満期を迎えるとき



[保険期間終了後、補償の更新を制限させていただく場合]

●保険金請求状況や年齢等によっては、次回以降の補償の更新をお断りしたり、引受条件を制限させていただくことがあります。

●東京海上日動が普通保険約款、特約または保険引受に関する制度等を改定した場合には、更新後の補償については更新日における内容が適用されます。この結果、更新後の補償内容等が変更されることや更新できないことがあります。

[更新後契約の保険料]

保険料は、補償ごとに、更新日現在の年齢および保険料率等によって計算します。したがって、その補償の更新後の保険料は、更新前の保険料と異なることがあります。

[補償対象外となる病気・症状を設定してお引受けしている場合]

医療補償において、更新前契約に補償対象外となる病気・症状が設定されている場合であっても、更新にあたり新たに「健康状態告知書」のすべての質問事項について告知いただくことで、補償対象外となる病気・症状を設定しない加入内容に変更できる場合があります。ただし、新たにいただいた告知の内容により、お引受けをお断りさせていただくことや補償対象外となる病気・症状が新たに設定されることがありますので、ご注意ください。

[更新後契約の補償内容を拡充する場合]

医療補償、介護補償において、更新時に保険の対象となる方の追加や保険金額*1の高いタイプへの変更、口数の増加等、補償内容をアップする場合には、再度告知が必要となります。正しく告知をいただけない場合には、補償内容をアップされた部分を解除することがあります。

ご加入を解除する場合、補償内容をアップされた部分については保険金をお支払いできないことがあります。

*1 団体長期障害所得補償については、支払基礎所得額×約定給付率とします。

[保険金請求忘れのご確認]

ご加入を更新いただく場合は、更新前の保険契約について保険金請求忘れがないか、今一度ご確認をお願いいたします。ご請求忘れや、ご不明な点がございましたら、《お問い合わせ先》まですぐにご連絡ください。なお、パンフレット等記載の内容は本年度の契約更新後の補償内容です。更新前の補償内容とは異なることがありますので、ご注意ください。

[更新加入依頼書等記載の内容]

更新加入依頼書等に記載しているご加入者(団体の構成員)の氏名(ふりがな)、社員コード、所属等について確認いただき、変更があれば訂正いただきますようお願いいたします。また、現在のご加入内容についてもあわせてご確認いただき、変更がある場合は、《お問い合わせ先》までご連絡ください。

[ご加入内容を変更されている場合]

ご加入内容を変更されている場合、お手元の更新加入依頼書等には反映されていない可能性があります。なお、自動更新される場合は、ご契約はこの更新加入依頼書等記載の内容にかかわらず、満期日時点のご加入内容にて更新されます。

Ⅳ その他ご留意いただきたいこと

1 個人情報の取扱い



- 保険契約者である企業または団体は引受保険会社に本契約に関する個人情報を提供いたします。引受保険会社および引受保険会社のグループ各社は、本契約に関する個人情報を、保険引受の判断、本契約の管理・履行、付帯サービスの提供、他の保険・金融商品等の各種商品・サービスの案内・提供、アンケート等を行うために利用する他、下記①から⑥の利用・提供を行うことがあります。なお、保健医療等の特別な非公開情報（センシティブ情報）の利用目的は、保険業法施行規則により、業務の適切な運営の確保その他必要と認められる範囲に限定されています。
 - ①本契約に関する個人情報の利用目的の達成に必要な範囲内で、業務委託先（保険代理店を含みます。）、保険仲立人、医療機関、保険金の請求・支払いに関する関係先、金融機関等に対して提供すること
 - ②契約締結、保険金支払い等の判断をするうえでの参考とするために、他の保険会社、一般社団法人日本損害保険協会等と共同して利用すること
 - ③引受保険会社と引受保険会社のグループ各社または引受保険会社の提携先企業等との間で商品・サービス等の提供・案内のために、共同して利用すること
 - ④再保険契約の締結、更新・管理、再保険金支払等に利用するために、再保険引受会社等に提供すること
 - ⑤質権、抵当権等の担保権者における担保権の設定等に係る事務手続きや担保権の管理・行使のために、その担保権者に提供すること
 - ⑥更新契約に係る保険引受の判断等、契約の安定的な運用を図るために、保険の対象となる方の保険金請求情報等（過去の情報を含みます。）をご契約者およびご加入者に対して提供すること
詳しくは、東京海上日動火災保険株式会社のホームページ(www.tokiomarine-nichido.co.jp)および他の引受保険会社のホームページをご参照ください。
- 損害保険会社等の間では、傷害保険等について不正契約における事故招致の発生を未然に防ぐとともに、保険金の適正かつ迅速・確実な支払を確保するため、契約締結および事故発生の際、同一の保険の対象となる方または同一事故に係る保険契約の状況や保険金請求の状況について一般社団法人日本損害保険協会に登録された契約情報等により確認を行っております。これらの確認内容は、上記目的以外には用いません。

2 ご加入の取消し・無効・重大事由による解除について

- 傷害補償で、ご加入者以外の方を保険の対象となる方とすることにご加入について死亡保険金受取人を法定相続人以外の方に指定する場合において、その保険の対象となる方の同意を得なかった場合、ご加入は無効になります。
- がん補償について、以下に該当する事由がある場合、ご加入は無効になります。
 - ①この保険が継続されてきた最初のご加入（初年度契約といえます。）の保険始期前に、保険の対象となる方ががんと診断確定されていた場合
 - ②保険金受取人を保険の対象となる方以外の方に指定する場合において、その保険の対象となる方の同意を得なかったとき（その保険の対象となる方を保険金受取人にする場合は除きます。）
- ご契約者、保険の対象となる方または保険金の受取人が、暴力団関係者その他の反社会的勢力に該当すると認められた場合には、東京海上日動はご加入を解除することができます。
- その他、約款等に基づき、ご加入が取消し・無効・解除となる場合があります。

3 保険会社破綻時の取扱い等



- 引受保険会社の経営が破綻した場合等には、保険金、返れい金等の支払いが一定期間凍結されたり、金額が削減されることがあります。
- 引受保険会社の経営が破綻した場合には、この保険は「損害保険契約者保護機構」の補償対象となり、保険金、返れい金等は、補償内容ごとに下表のとおりとなります。

補償内容	保険期間	経営破綻した場合等のお取扱い
傷害補償、賠償責任に関する補償、財産に関する補償、費用に関する補償	1年以内	原則として80％（破綻保険会社の支払停止から3か月間が経過するまでに発生した保険事故に係る保険金については100％）まで補償されます。
	1年超	原則として90％まで補償されます。ただし、破綻後に予定利率等の変更が行われた場合には、90％を下回ることがあります。
医療補償、介護補償		

4 その他ご加入に関するご注意事項

- 東京海上日動の代理店は東京海上日動との委託契約に基づき、保険契約の締結・契約の管理業務等の代理業務を行っております。したがって、東京海上日動の代理店と有効に成立したご契約については東京海上日動と直接締結されたものとなります。



- 加入者票はご加入内容を確認する大切なものです。加入者票が到着しましたら、ご意向どおりのご加入内容になっているかどうかをご確認ください。また、加入者票が到着するまでの間、パンフレットおよび加入依頼書控等、ご加入内容がわかるものを保管いただきますようお願いいたします。ご不明な点がございましたら、《お問い合わせ先》までご連絡ください。なお、パンフレット等にはご加入上の大切なことがらが記載されていますので、ご一読のうえ、加入者票とともに保険期間の終了時まで保管してご利用ください。
- ご契約が共同保険契約である場合、各引受保険会社はそれぞれの引受割合に応じ、連帯することなく単独別個に保険契約上の責任を負います。また、幹事保険会社が他の引受保険会社の代理・代行を行います。引受保険会社については、〈共同保険引受保険会社について〉をご確認ください。

5 事故が起こったとき

- 事故が発生した場合には、直ちに（介護補償については遅滞なく、所得補償、団体長期障害所得補償、医療補償、がん補償等については30日以内に）《お問い合わせ先》までご連絡ください。
- 賠償責任に関する補償において、賠償事故にかかわる示談交渉は、必ず東京海上日動とご相談いただきながらご対応ください。
- 保険金のご請求にあたっては、約款に定める書類のほか、以下の書類または証拠をご提出いただく場合があります。
 - ・印鑑登録証明書、住民票または戸籍謄本等の保険の対象となる方、保険金の受取人であることを確認するための書類
 - ・東京海上日動の定める傷害もしくは疾病の程度、治療内容および治療期間等を証明する保険の対象となる方以外の医師の診断書、領収書および診療報酬明細書等（からだに関する補償においては、東京海上日動の指定した医師による診断書その他医学的検査の対象となった標本等の提出を求める場合があります。）
 - ・東京海上日動の定める就業不能状況記入書
 - ・東京海上日動の定める就業障害状況報告書
 - ・他の保険契約等の保険金支払内容を記載した支払内訳書等、東京海上日動が支払うべき保険金の額を算出するための書類
 - ・高額療養費制度による給付額が確認できる書類
 - ・附加給付の支給額が確認できる書類
 - ・東京海上日動が保険金を支払うために必要な事項の確認を行うための同意書
 - ・所得を証明する書類
 - ・公的介護保険制度の要介護認定等を証明する書類（介護補償（年金払介護）においては、それぞれの保険金支払基準日において有効な書類とします。）
- 保険の対象となる方または保険金の受取人に保険金を請求できない事情があり、保険金の支払いを受けるべき保険の対象となる方または保険金の受取人の代理人がいらない場合は、保険の対象となる方または保険金の受取人の配偶者*1または3親等内のご親族（あわせて「ご家族」といいます。）のうち東京海上日動所定の条件を満たす方が、保険の対象となる方または保険金の受取人の代理人として保険金を請求できる場合があります。本内容については、ご家族の皆様にご説明くださいますようお願いいたします。
*1 法律上の配偶者に限ります。
- 保険金請求権には時効（3年）がありますのでご注意ください。
- 損害が生じたことにより保険の対象となる方等が損害賠償請求権その他の債権を取得した場合で、東京海上日動がその損害に対して保険金を支払ったときは、その債権の全部または一部は東京海上日動に移転します。
- 賠償責任に関する補償において、保険の対象となる方が賠償責任保険金等をご請求できるのは、費用保険金を除き、以下の場合に限られます。
 1. 保険の対象となる方が相手方に対して既に損害賠償としての弁済を行っている場合
 2. 相手方が保険の対象となる方への保険金支払を承諾していることを確認できる場合
 3. 保険の対象となる方の指図に基づき、東京海上日動から相手方に対して直接、保険金を支払う場合

東京海上日動安心110番（事故受付センター）のご連絡先は、後記をご参照ください。

東京海上日動火災保険株式会社 保険の内容に関するご意見・ご相談等はパンフレット等記載の《お問い合わせ先》にて承ります。



一般社団法人 日本損害保険協会 そんぽADRセンター（指定紛争解決機関）

東京海上日動火災保険（株）は、保険業法に基づく金融庁長官の指定を受けた指定紛争解決機関である一般社団法人日本損害保険協会と手続実施基本契約を締結しています。東京海上日動火災保険（株）との間で問題を解決できない場合には、同協会に解決の申し立てを行うことができます。詳しくは、同協会のホームページをご確認ください。
(https://www.sonpo.or.jp/)



0570-022808



IP電話からは **03-4332-5241** をご利用ください。
受付時間：平日 午前9時15分～午後5時
（土・日・祝日・年末年始はお休みとさせていただきます。）

〈共同保険引受保険会社について〉

引受保険会社	引受割合	引受保険会社	引受割合
東京海上日動火災保険株式会社	33.00%	損害保険ジャパン株式会社	32.20%
三井住友海上火災保険株式会社	18.70%	あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	9.50%
日新火災海上保険株式会社	6.60%		

本説明書はご加入いただく保険に関するすべての内容を記載しているものではありません。詳細につきましては、「団体総合生活保険 普通保険約款および特約」に記載しています。必要に応じて、団体までご請求いただくか、東京海上日動のホームページでご参照ください（ご契約により内容が異なっていたり、ホームページに保険約款を掲載していない商品もあります。）。ご不明点等がある場合は、《お問い合わせ先》までご連絡ください。インターネット等によりお手続きされる場合は、加入依頼書等へ記載することにかえて、画面上に入力してください。また、本説明書中の「健康状態告知書」は「健康状態の告知の画面」と読み替えてください。

東京海上日動のホームページのご案内
www.tokiomarine-nichido.co.jp

東京海上日動安心110番 （事故受付センター）

事故のご連絡・ご相談は全国どこからでも「東京海上日動安心110番」へ



0120-720-110

受付時間：24時間365日

東京海上日動火災保険株式会社

ご加入内容確認事項(意向確認事項)

本確認事項は、万一の事故の際に安心して保険をご利用いただけるよう、ご加入いただく保険商品がお客様のご希望に合致した内容であること、ご加入いただくうえで特に重要な事項を正しくご記入をいただいていること等を確認させていただくためのものです。
お手数ですが以下の各質問事項について再度ご確認いただきますようお願い申し上げます。
なお、ご確認にあたりご不明な点等がございましたら、《お問い合わせ先》までご連絡ください。

1. 保険商品が以下の点でお客様のご希望に合致した内容となっていることをパンフレット・重要事項説明書でご確認ください。
万一、ご希望に合致しない場合はご加入内容を再度ご検討ください。
- ☐ 保険金をお支払いする主な場合

☐ 保険金額、免責金額(自己負担額)

☐ 保険期間

☐ 保険料・保険料払込方法

☐ 保険の対象となる方
2. 加入依頼書等の記入事項等につき、以下の点をご確認ください。万一、記入漏れ、記入誤りがある場合は、加入依頼書等を訂正してください。また、下記事項に関し、現在のご加入内容について誤りがありましたら、《お問い合わせ先》までご連絡ください。

確認事項	傷害補償	医療補償	介護補償	左記以外の補償
☐ 加入依頼書等の「生年月日」または「満年齢」欄、「性別」欄は正しくご記入いただいていますか？	—	○	○	—
☐ 加入依頼書等の「職業・職務」欄、「職種級別」欄は正しくご記入いただいていますか？ ※各区分(AまたはB)に該当する職業例は下記のとおりです。 ☐ 職種級別Aに該当する方: 「事務従事者」、「販売従事者」等、下記の職種級別Bに該当しない方 ☐ 職種級別Bに該当する方: 「自動車運転者」、「建設作業者」、「農林業作業者」、「漁業作業者」、「採鉱・採石作業者」、「木・竹・草・つる製品製造作業者」(以上、6職種)	○	—	—	—
●「健康状態告知が必要な場合のみ」ご確認ください。 ☐ 保険の対象となる方によって「健康状態告知」欄に正しく告知いただいていますか？ ※1 介護補償については、保険の対象となる方からのご依頼を受けた団体構成員が保険の対象となる方の健康状態を確認したうえで、代理で告知いただくことも可能です。	—	○	○ ^{*1}	—
☐ 加入依頼書等の「他の保険契約等」欄は正しく告知いただいていますか？	○	○	○	○

3. 重要事項説明書の内容についてご確認いただけましたか？
特に「保険金をお支払いしない主な場合」、「告知義務・通知義務等」、「補償の重複に関するご注意^{*1}」についてご確認ください。
^{*1} 例えば、個人賠償責任補償特約をご契約される場合で、他に同種のご契約をされているとき等、補償範囲が重複することがあります。
- ※インターネット等によりお手続きされる場合は、本確認事項中の「記入」を「入力」と読み替えてください。

東京海上日動火災保険株式会社

Q&A よくあるご質問

傷害補償

Q 通院保険金は通院した日数分が支払われますか？

A 医師等の治療を必要とし、事故の日からその日を含めて180日以内に通院（往診を含みます。）された場合に、通院日数（実日数）分をお支払いします。（事故の日からその日を含めて180日以内の90日分が限度となります）

Q 生命保険の保険金が支払われた場合も保険金は支払われますか？

A ケガの補償については生命保険・健康保険とは関係なく、保険金をお支払いします。

Q 入院保険金や通院保険金は何日目から支払われますか？

A 1日目からお支払いします。

Q 保険金の支払を受けた場合に、次年度の保険料に変更はありますか？

A 団体契約全体の被保険者数および一定の成績期間における団体契約全体の損害率に応じて割増引率を決定し、契約タイプ毎に保険料を算出いたしますので、個々の加入者単位で、保険金支払実績に応じて保険料が変動することはありません。ただし、保険金請求状況等によっては、次回以降の更新のお引受けをお断りさせていただくことがありますので予めご了承ください。

Q （個人）賠償責任補償について、もう少し分かりやすく教えてください。

A 国内外において、日常生活で他人にケガをさせたり他人の物を壊してしまったときや、国内で他人から借りた物や預かった物（受託品）を国内外で壊したり盗まれてしまったとき等、法律上の損害賠償責任を負った場合に保険金をお支払いします。
（例）○自転車を運転中、誤って歩行者と接触し、ケガをさせた。
○買い物中、誤って商品を壊してしまった。
○レンタルしたスキー用品を誤って壊してしまった。
○他人から借りた旅行カバンを盗まれた。

携行品損害

Q スマートフォンは対象になりますか？

A 電子通信機器（メールの送受信やインターネットの利用が可能なもの）については対象外となります。
（例）スマートフォン、iPad等は補償対象外となります。

Q 携行品損害補償について、もう少し分かりやすく教えてください。

A 自宅外で、ご自身の携行中の家財が偶然な事故（落としたことによる破損・盗まれた等）によって被った損害を補償します。国内・海外を問わず補償されます。なお、盗難（置き忘れまたは紛失後の盗難を除く）の場合は、警察への届け出が必要になります。
（例）○海外旅行中にビデオカメラが盗難にあった。
○プレー中にテニスラケットが折れてしまった。といった事故が補償の対象となります。

その他・共通

Q 保険金を請求する際に注意することはありますか？

A 以下の点に特にご注意ください。

①持病等（疾病）が原因で傷害が重大となった場合は、持病等（疾病）の影響がなかった場合に相当する保険金をお支払いします。
（例）骨粗鬆症で骨が弱っていたお年寄りが、転んで骨折した。
→骨粗鬆症により傷害が重大となったことにより、保険金は削減されることもあります。
（入通院した全ての日数が、お支払いの対象とならない場合があります。）

②一般的な治療期間を大幅に超える入通院については、入通院された全ての期間がお支払いの対象となるわけではありません。

Q 今回の募集期間以外でも加入できますか？

A 中途加入できます。

Q 退職・休職の場合、契約の継続は出来ますか？

A 休職の場合：アイラスの担当者より別途ご案内いたします。
退職の場合：退職者の条件に該当される場合は、「日本IBMグループ退職者」様として同内容にて継続加入することが出来ます。
なお、保険料払込方法につきましては、退職月の翌月より口座振替となりますので「預金口座振替依頼書」のご提出を案内いたします。
（満期（2022年7月1日）までは「月払」、以降は「一時払」の口座振替となります。）

Q 年末調整の対象となりますか？

A ご契約者自身もしくはその配偶者その他の親族を保険金受取人とする所得補償保険契約または医療費用保険契約等に係る保険料が生命保険料控除（介護医療用）の対象となります。医療補償・介護補償にご加入の方が対象となります。

Q 契約を解約した場合、保険料の支払いはどうなりますか？

A 保険始期から解約日までの月額保険料を領収致します。チェックオフが出来ない場合は別途集金させていただきます。
なお、解約返れい金はありません。

Q 家族構成が変更となった場合、何か手続きは必要ですか？

A 必要です。補償により被保険者の範囲が異なるため、家族形態が変更となった場合は代理店までご連絡ください。

公的介護保険制度とは

【公的介護保険制度の概要】

公的介護保険制度とは、介護保険法に基づく社会保険制度をいい、40歳以上の国民は全員加入し介護保険料を支払う義務があります。これにより、40歳以上の方が介護が必要になった時に所定の介護サービスを受けることができます。



【公的介護保険制度の被保険者（加入者）と受給要件】

公的介護保険制度における受給要件は、下表のとおり、年齢によって異なります。

年齢	39歳以下	40歳以上64歳以下*1	65歳以上
被保険者	被保険者ではない	第2号被保険者	第1号被保険者
受給要件	対象外	要介護、要支援状態が、末期がん・関節リウマチ等の加齢に起因する疾病（16種類の特定疾病）による場合に限定	原因を問わず以下の状態となったとき ● 要介護状態 （寝たきり、認知症等で介護が必要な状態） ● 要支援状態 （日常生活に支援が必要な状態）

*1 公的医療保険（国民健康保険・被用者保険）の加入者である必要があります。

【公的介護保険制度における要介護（要支援）状態区分について】

公的介護保険制度における要介護（要支援）状態区分は、下表のとおり、要支援および要介護に分けられており、さらに、要支援は2つに、要介護は5つに分けられています。

状態区分		状態像
非該当（自立）		歩行や起き上がり等の日常生活上の基本的動作を自分で行うことが可能であり、かつ薬の内服、電話の利用等の手段的日常生活動作を行う能力もある状態。
要支援	1	日常生活上の基本的動作については、ほぼ自分で行うことが可能であるが、日常生活動作の介助や現在の状態の悪化の防止により要介護状態となることの予防に資するよう、手段的日常生活動作について何らかの支援を要する状態。
	2	要支援1の状態から、手段的日常生活動作を行う能力がわずかに低下し、何らかの支援が必要となる状態の人で、部分的な介護が必要な状態にあるが、予防給付の利用により、現状維持及び状態改善が見込まれる状態。
要介護	1	要支援2の状態から手段的日常生活動作を行う能力がさらに低下し、部分的な介護が必要となる状態の人で、心身の状態が安定していない状態や認知機能の障害等により予防給付の利用について適切な理解が困難である状態。
	2	要介護1の状態に加え、日常生活動作についても部分的な介護が必要となる状態。
	3	要介護2の状態と比較して、日常生活動作及び手段的日常生活動作の両方の観点からも著しく低下し、ほぼ全面的な介護が必要となる状態。
	4	要介護3の状態に加え、さらに動作能力が低下し、介護なしには日常生活を営むことが困難となる状態。
	5	要介護4の状態よりさらに動作能力が低下しており、介護なしには日常生活を営むことがほぼ不可能な状態。

サービスのご案内

「日頃の様々な悩み」から「もしも」のときまでバックアップ！
東京海上日動のサービス体制なら安心です。

※サービスの内容は変更・中止となる場合があります。

※サービスのご利用にあたっては、グループ会社・提携会社の担当者が、「お名前」「ご連絡先」「団体名」等を確認させていただきますのでご了承願います。

メディカルアシスト 自動セット

お電話にて各種医療に関するご相談に応じます。
また、夜間の救急医療機関や最寄りの医療機関をご案内します。



0120-708-110

受付時間*1:24時間365日

*1 予約制専門医相談は、事前予約が必要です（予約受付は、24時間365日）。

緊急医療相談

常駐の救急科の専門医および看護師が、緊急医療相談にて24時間お電話で対応します。

医療機関案内

夜間・休日の受付を行っている救急病院や、旅先での最寄りの医療機関等をご案内します。

予約制専門医相談

様々な診療分野の専門医が、輪番予約制で専門的な医療・健康電話相談をお受けします。

がん専用相談窓口

がんに関する様々なお悩みに、経験豊富な医師とメディカルソーシャルワーカーがお応えします。

転院・患者移送手配*2

転院される時、民間救急車や航空機特殊搭乗手続き等、一連の手配の一切を承ります。

*2 実際の転院移送費用は、お客様にご負担いただきます。

介護アシスト 自動セット

お電話にてご高齢者の生活支援や介護に関するご相談に応じ、優待条件でご利用いただける各種サービスをご紹介します。



0120-428-834

受付時間:いずれも土日祝日、年末年始を除く

- 電話介護相談 9:00～17:00
- 各種サービス優待紹介 9:00～17:00

電話介護相談

ケアマネジャー・社会福祉士・看護師等が、公的介護保険制度の内容や利用手続、介護サービスの種類や特徴、介護施設の入所手続、認知症への対処法といった介護に関するご相談に電話でお応えします。認知症のご不安に対しては、医師の監修を受けた「もの忘れチェックプログラム*1」をご利用いただくことも可能です。

*1 お電話でいくつかのアンケートにお答えいただき、その回答結果に基づいて、受診のおすすめや専門医療機関のご案内等を行います。

インターネット介護情報サービス

情報サイト「介護情報ネットワーク」を通じて、介護の仕方や介護保険制度等、介護に関する様々な情報をご提供します。

[ホームページアドレス] www.kaigonw.ne.jp

各種サービス優待紹介*2

「家事代行」「食事宅配」「リフォーム」「見守り・緊急通報システム」「福祉機器」「有料老人ホーム・高齢者住宅」「バリアフリー旅行」といったご高齢の方の生活を支える各種サービスについて優待条件でご利用いただける事業者をご紹介します。*3

※お住まいの地域によってはご利用いただけなかったり、優待を実施できないサービスもあります。

*2 本サービスは、サービス対象者（「ご注意ください」をご参照ください。）に限りご利用いただけます。

*3 サービスのご利用にかかる費用については、お客様にご負担いただきます。

デイリーサポート 自動セット

法律・税務・社会保険に関するお電話での相談や
毎日の暮らしに役立つ情報をご提供します。



0120-285-110

受付時間:いずれも土日祝日、年末年始を除く

- 法律相談 10:00～18:00
- 社会保険に関する相談 10:00～18:00
- 税務相談 14:00～16:00
- 暮らしの情報提供 10:00～16:00

法律・税務相談

提携の弁護士等が身の回りの法律や税金に関するご相談に電話でわかりやすくお応えします。また、ホームページを通じて、法律・税務に関するご相談を24時間電子メールで受け付け、弁護士等の専門家が電子メールでご回答します。

[ホームページアドレス] www.tokiomarine-nichido.co.jp/contractor/service/consul/input.html

※弁護士等のスケジュールとの関係でご回答までに数日かかる場合があります。

社会保険に関する相談

公的年金等の社会保険について提携の社会保険労務士がわかりやすく電話でご説明します。
※社会保険労務士のスケジュールとの関係でご回答までに数日かかる場合があります。

暮らしの情報提供

グルメ・レジャー情報・冠婚葬祭に関する情報・各種スクール情報等、暮らしに役立つ様々な情報を電話でご提供します。

◆ご注意ください（各サービス共通）

- ご利用は、保険期間中ににご相談内容の事柄が発生しており、かつ現在に至るまで保険契約が継続している場合に限りです。
- ご相談の対象は、ご契約者、ご加入者および保険の対象となる方（法人は除きます。）、またはそれらの方の配偶者*1・ご親族*2の方（以下サービス対象者といいます。）のうち、いずれかの方に日本国内で発生した身の回りの事象（事業活動等を除きます。）とし、サービス対象者からの直接の相談に限りです。
- 一部の地域ではご利用いただけないサービスもあります。
- 各サービスは、東京海上日動がグループ会社または提携会社を通じてご提供します。
- メディカルアシスト、介護アシストの電話相談は医療行為を行うものではありません。また、ご案内した医療機関で受診された場合の費用はお客様のご負担となります。

*1 婚姻の届出をしていないが事実上婚姻関係と同様の事情にある方および戸籍上の性別が同一であるが婚姻関係と異ならない程度の実質を備える状態にある方を含みます。婚約とは異なります。

*2 6親等以内の血族・3親等以内の姻族をいいます。

必ずお読みください

団体総合生活保険の
2021年4月1日以降始期契約のご加入者様

東京海上日動火災保険株式会社

団体総合生活保険 商品改定のご案内

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。弊社業務に関しましては、毎々格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
現在ご契約いただいております団体総合生活保険について、2021年4月1日以降始期契約より商品を改定させていただきます。
つきましては、以下のとおり改定の内容につきご案内させていただきますので、本改定についてご理解賜りますとともに、引き続きご愛顧を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

敬 具

1 新たに販売する補償

補 償	改 定 項 目	概 要
団体長期障害 所得補償 (GLTD)	「治療と仕事の両立支援特約(三大疾病用)」の販売開始	従来、がん等の疾病は入院治療が主流でしたが、昨今の医療技術の進展等により、早期に通院治療に切り替え、復職されるケースが増えています。 これを踏まえ、被保険者が三大疾病(がん、急性心筋梗塞、脳卒中)により働けなくなった場合は、早期に短時間勤務等で復職したときでも保険金をお支払いすることにより治療をしながら働き続けることを支援する「治療と仕事の両立支援特約(三大疾病用)」を発売します。
	「介護と仕事の両立支援特約」の販売開始	高齢化の進展に伴い、介護をしながら働いている就業者は340万人を超えています。 これを踏まえ、介護のために休業や短時間勤務等をした場合の収入減少を補償することにより介護離職防止につなげることを目的とした「介護と仕事の両立支援特約」を発売します。
	「認知症・メンタル疾患補償特約(精神障害補償特約(D))」の販売開始	現在販売している「精神障害補償特約」では補償対象外としている、アルツハイマーや発達障害の症状悪化等による就業障害も補償対象とする「認知症・メンタル疾患補償特約(精神障害補償特約(D))」を発売します。
がん補償	「がん再発転移補償特約」の販売開始	がん患者の多くは再発や転移に対する不安を抱えておられますが、従来のがん保険(がん診断保険金)では、治癒する前の転移や短期間のうちに再発した場合等は保険金をお支払いできませんでした。 これを踏まえ、所定の治療を受けたがんが再発または転移した場合に、治癒・寛解の有無や再発・転移までの経過期間に関わらず保険金をお支払いする「がん再発転移補償特約」を発売します。
	「がん生活支援特約」の販売開始	医療技術の進展によりがん罹患後の生存率は向上しておりますが、治療の長期化に伴いQOL維持のために必要となる外見ケアや日用品等の間接費に備えるための商品がありませんでした。 これを踏まえ、以下の①または②に該当した場合に、毎年1回、最長で10年間(10回)に亘り保険金をお支払いする「がん生活支援特約」を発売します。 ①がんと診断されたとき ②毎年所定のがん治療を受けたとき

2 新たに提供するサービス

補 償	改 定 項 目	概 要
介護補償 <u>年金払介護のみ</u>	「認知症アシスト」における新サービスの追加	「認知症アシスト」に、パソコンやタブレット端末等を用いた4つの簡単なテストで脳の反応速度、注意力、視覚学習および記憶力を評価する新たなサービス「脳の健康度チェック」を追加します。 本サービスは、エーザイ株式会社が提供するデジタルツール「のうKNOW(ノウノウ)」を通じて提供します。 ※本サービスは無償で提供します。 ※本サービスは診察および診断等の医療行為を行うものではありません。

3 主な改定点

(1) 各補償共通の改定内容

補 償	改 定 項 目	概 要
各補償共通	民法(債権法)改正に伴う約款改定	民法(債権法)改正により、「錯誤による意思表示」の効果が「無効」から「取消」に変更されます。これに伴い、保険契約の締結の際に告げられた年齢または生年月日に誤りがあった場合の対応について、「無効とする」と定めていたものを「取り消すことができる」へ変更します。

(2) 各補償固有の改定内容

○印のある補償について、下記のとおり改定いたします。

変更する補償						
①傷害補償	②こども傷害補償	③所得補償	④団体長期障害 所得補償(GLTD)	⑤医療補償	⑥がん補償	⑦介護補償

変更する補償							改 定 項 目	概 要
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦		
○	○						「特定感染症危険補償特約」の補償拡大	「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律(以下、感染症法)」の改正により新型コロナウイルス感染症*1が感染症法上の「指定感染症」から「新型インフルエンザ等感染症」に変更されたことを踏まえ、新型コロナウイルス感染症*1を引き続き補償対象とする約款改定を行います。*2 ※新型コロナウイルス感染症*1は、2020年2月1日より補償対象としております。既に本特約にご加入いただいているお客様で2020年2月1日以降に新型コロナウイルス感染症*1を発病された場合は、代理店または弊社までご連絡ください。なお、新たに本特約にご加入される場合、保険期間の初日からその日を含めて10日以内に発病されたときは保険金をお支払いできませんのでご注意ください。 *1 病原体がベータコロナウイルス属のコロナウイルス(令和2年1月に、中華人民共和国から世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限ります。)であるものに限ります。 *2 本改定は、改正感染症法の施行日である2021年2月13日より適用いたします。
	○	○	○	○	○	○	約款上の疾病等に関する定義(ICD等)の改定および「がん」の定義の見直し	約款上、疾病等の定義に用いている「疾病、傷害及び死因の統計分類提要」「国際疾病分類－腫瘍学」が最新化されたことに伴い、表記の変更・明確化等を行います。 また、「疾病、傷害及び死因の統計分類提要」または「国際疾病分類－腫瘍学」において、今後の改定により新たに「悪性新生物」または「上皮内新生物」に分類された疾病がある場合には、その疾病も約款上の「がん」に含むこととします。
				○			「免責期間中の一部復職」に関する取扱いの変更	免責期間中に一部復職した場合、現在は「7日以内かつ医師の診断に基づくりハビリまたは引継等のための一部復職」に限り就業障害が継続しているとして取扱っていますが、7日以内の一部復職の場合は事由を問わず就業障害の日数が継続する取扱いに変更します。
			○				業種(事業種類)コードの最新化	契約者の業種(事業種類)を特定する際に使用する「日本標準産業分類(総務省発行)」を「平成14年3月改訂」から「平成25年10月改訂」に最新化します。
					○		保険料の改定	直近の保険金のお支払実態等を踏まえ、がん補償の保険料を改定します。

4 主な改定点

下記の特約を販売中止させていただきます。

補 償	改 定 項 目	概 要
団体長期障害 所得補償 (GLTD)	「精神障害補償特約」の販売中止	「認知症・メンタル疾患補償特約(精神障害補償特約(D))」の販売開始に伴い、「精神障害補償特約」の販売を中止します。 現在「精神障害補償特約」をセットしているご契約については、更新時に「認知症・メンタル疾患補償特約(精神障害補償特約(D))」へ移行(自動読替)します。

このご案内は、2021年4月1日以降始期の団体総合生活保険の改定の概要を記載したものです。ご契約にあたっては、必ず「重要事項説明書」をよくお読みください。ご不明な点がある場合は、代理店または東京海上日動までお問い合わせください。